

第4章

生涯を通じて人と文化を育む
学びのまち

～地域ぐるみで
心豊かなまちづくり～

- 第1節 社会教育の推進
- 第2節 学校教育の充実
- 第3節 青少年の健全育成
- 第4節 地域文化の振興
- 第5節 スポーツの振興
- 第6節 交流時代への対応

第7次別海町総合計画
第4部 基本計画（抜粋）



第4章 生涯を通じて人と文化を育む学びのまち

地域ぐるみで 心豊かなまちづくり



1 社会教育の推進

1 現状

少子超高齢社会の進行や情報通信技術の急速な発展等により、社会環境や家庭生活は大きく変化し、求められる学習ニーズが多様化しています。また、人生100年時代を豊かに生きていくために、全ての人が健康で、生きがいを持って暮らせる社会を実現する上で、生涯にわたって学習できる環境を整えることは、個人の人生を豊かにするだけでなく、学習成果を地域社会に還元することにもなり、魅力と活力ある地域づくりにつながっています。

本町では、身近な学びの拠点である生涯学習センターみなくるや各公民館、スポーツセンター、図書館等を中心に町民の多様な学習を支援するとともに、幅広い学習ニーズの把握に努め、さまざまな講座・教室・講演会等の学習機会の提供を行っています。

また、社会教育関係団体への活動支援を行い、自主的な社会教育活動を促進させるとともに、多分野の指導者の人材育成を進めています。

2 課題

西・東公民館及び郷土資料館をはじめとした社会教育施設の老朽化が進んでおり、緊急性や費用対効果を踏まえて計画的に改修や更新等を行う必要があります。

また、各社会教育施設では、幅広い世代のニーズを的確にくみ取り、学習機会を提供するとともに、活動に対する情報提供や相談用務についても、積極的かつきめ細やかに対応することが求められています。

図書館は、今後も継続して蔵書の整備を進めるだけでなく、利用者ニーズの多様化・高度化に応えられる情報・資料の提供が求められており、そのため新刊図書購入の継続やレファレンス*資料更新、基幹産業関連図書の購入・更新や郷土資料の収集保存にも力を入れる必要があります。

今後は、まちづくりの主体である町民の活動を支える地域の拠点として、生涯学習センターみなくるをはじめ各公民館の集約された機能が、地域や学校等に幅広く影響を与えられるよう「学校応援ボランティア」や、地域・学校協働における「地域コーディネーター」等の人材を活用し、町民と行政が一体となった地域づくりを行うことが重要となっています。

3 施策の目的

誰もが心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、魅力と活力ある地域づくりにつながるため、子どもから高齢者まで全ての世代が学べる社会教育の環境づくりを推進します。

*用語解説「※」は、全体版を参照

4 主要施策

①社会教育関連施設の充実	西・東公民館及び郷土資料館そのほかの施設について、設備や機能等の老朽化がみられるため、計画的に改修や更新を行い、利活用を推進します。
②特色ある社会教育プログラムの整備と提供	町民のニーズを的確に捉え、事業や講座等を計画的に実施し、学習機会等の提供を図るとともに、町民に広く情報提供ができるよう広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。
③図書館の充実	利用者ニーズの多様化・高度化に対応できる情報収集と資料提供に向けて、今後も蔵書整備を継続し、利用率の高い書架を整備するとともに、円滑なレファレンスサービス対応ができるように、司書などの適切な人員を確保します。また施設・機器の劣化により運営に支障を来すことのないよう、計画的に整備を進めます。
④団体等の活動支援と地域の担い手の養成	社会教育関係団体への活動支援として、学習環境の整備と機会の充実を図ることで、地域の人材を育成するとともに、学校応援ボランティア等を活用することで、学習の成果を学校や地域において発揮できるよう進めます。

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)
生涯学習「ふれあいトーク宅配講座」講座開講数	件	42	33	50
学校応援ボランティア利用件数	件	15	12	16
公民館利用者数（生涯学習センター、西、東公民館）	人	70,006	57,760	58,000
公民館講座開設数	講座	23	31	26
寿大学受講者数	人	1,682	1,023	1,350
町民一人当たりの貸出冊数	冊	5.13	3.91	4.50
図書館でのお話会等への参加者数	人	168	119	150
図書館利用者数（移動図書館車・上西春別中開放図書室利用者を含む）	人	21,052	14,422	18,000
児童・生徒の朝読率	%	—	100	100

6 主要な事業

社会教育施設及び設備の延命化事業	西・東公民館及び図書館等の老朽化に対応し、2020年（令和2年）に策定した当該施設の「長寿命化計画」に基づき、計画的に補修改修を行い、住民サービスの向上に取り組みます。
読書普及事業	利用者ニーズに対応した図書及び資料の整備を継続するとともに各種イベントを実施し、読書意欲の向上と利用促進を図ります。
住民参画型社会教育プログラム事業	「学びの木」にある学ぶ機会の提供と地域住民との協働による特色ある事業を推進します。



2 学校教育の充実

1 現状

これからの社会は、I o T*やビッグデータ*、人工知能（A I）をはじめとする急速な技術革新やグローバル化、少子超高齢社会、消費社会等の一層の進展などにより大きく変化することが予想されています。

本町の学校数は、2008年（平成20年）5月当時、町立小学校11校（児童数1,004人）、中学校9校（生徒数467人）で、その後、2009年（平成21年）3月には豊原、美原小学校が、2016年（平成28年）3月には別海小・中学校が閉校となり、2018年（平成30年）5月現在においては、町立小学校8校、中学校8校となっています。今後の児童・生徒数についても減少が見込まれていることを踏まえ、小中一貫教育など新しい教育制度を見据えた学校の在り方について検討を進めています。

これまで、本町では、安全・安心な給食を継続して提供するため、学校給食センターを改築し、耐震化に向けた中春別中学校及び上西春別中学校の改築をはじめ、計画的な学校施設の整備を図っています。

また、2014年度（平成26年度）に入学者の減少により普通科が2学級となった地元北海道別海高等学校については、町及び各種関係団体による要請活動の実施や各種支援事業を推進し、2017年度（平成29年度）から入学者募集時の普通科3学級が確保され、寄宿施設への助成をはじめとする各種支援事業を推進しています。

さらに、本町における学校教育の充実に向けて、社会変化に対応したI C Tを活用した教育など教育内容の充実、A L T*の配置など国際化への対応、心の問題への対応、子どもの安全対策及び教育環境の整備等を積極的に進めています。

2 課題

変化が激しく、今後の予測が困難な時代の中、本町の将来を担う子どもたちの、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など「生きる力」を育むことが喫緊の課題となっています。

このような状況の中、「知・徳・体」の調和の取れた未来を担う人材として、心身共に健やかに成長することができる教育環境づくりが強く求められています。

このため、幼児教育の一層の充実、主体的で対話的で深い学びに代表されるアクティブ・ラーニング*を視野に入れた特色ある学校教育活動の推進をはじめ、特別支援教育の充実や心の問題への対応を引き続き推進する必要があります。

また、老朽化した学校施設設備については、小中一貫教育を推進する町の方針を踏まえた計画的な整備が求められています。

さらに、学校、家庭、地域及び関係機関等が連携した子どもの安全性の確保、地域と共にある学校づくりを進めるコミュニティ・スクール*の推進、地域の特性を踏まえたふるさとキャリア教育、高等教育支援等の充実など総合的な取組を一体的に進める必要があります。

*用語解説「※」は、全体版を参照

3 施策の目的

次代の本町を担う人材の育成に向け、生きる力を重視した教育活動と信頼される学校づくりを進めながら、学校施設及び設備の計画的な整備や、地域の特性を生かし、地域が一体となった総合的な教育環境の向上に取り組みます。

4 主要施策

①幼児教育の充実	2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。 また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。 さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう施設及び設備の計画的な整備を進めます。
②学校教育の充実 総合戦略	基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。 また、学びの土台となる力を伸長するため、N I E*活動の推進、読書活動の推進、I C Tを活用した教育の充実等を進めます。 さらに、小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に対する、A L Tの派遣など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備・充実に取り組みます。
③学校施設及び設備の整備	学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。特に優先的な施設更新を計画している別海中央小学校及び別海中央中学校は、小中一貫教育を推進する町の方針を踏まえ、義務教育学校として整備を進めます。 また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。 さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるI C T環境の整備を進めます。
④特別支援教育の推進	町の教育支援委員会を中心に、町内の公立・私立の認定こども園、へき地保育園及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。 また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。

*用語解説「※」は、全体版を参照

⑤心の問題への対応	別海町子どものいじめ防止に関する基本方針等を踏まえ、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応に向け、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、「ふれあいるーむ」の指導員等の連携により教育相談を充実します。 また、教育支援センター「ふれあいるーむ」の体制強化を図り、町内全域の児童・生徒を十分に支援する体制づくりを進めます。
⑥学校給食の充実	2020年（令和2年）4月から新しい学校給食センターの運用を開始しています。新しい学校給食センターでは、地産地消の取組や各学校等と連携した食育の場として活用し、今後も安全・安心な学校給食の提供を行います。
⑦スクールバスの効果的な運行	広大な地域特性から、学校教育に欠かせないスクールバスについては、今後も児童・生徒に負担の少ない効率的な運行を行います。また、安全運行のため車両劣化状況を見極め、計画的な更新を行うとともに、仕様や適切な台数について検討を進めます。
⑧子どもの安全性の確保	学校管理下や登下校時に児童・生徒が犯罪や交通事故、自然災害等から身を守ることができるよう、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、別海町通学路交通安全プログラムや災害マニュアル等に基づき、子どもたちの安全性を確保します。
⑨学校と地域の連携 総合戦略	「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、地域住民が学校運営や必要な支援について協議を行うコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組を推進します。また、地域の特性を踏まえた体験活動、ふるさとキャリア教育、小中一貫教育等について、学校と地域が連携した取組を推進します。
⑩高等教育支援等の充実 総合戦略	地域活性化や本町の経済振興を支える人材の育成を進めるため、地元別海高等学校への支援として、寄宿施設への助成をはじめ各種支援事業を推進するとともに、高校と町内各中学校が交流する機会を促進し、今後も魅力ある高校として選択できる環境を整え、普通科3学級の確保及び酪農経営科の増員につなげます。 また、保護者の経済的な負担軽減のため、奨学資金制度により高等教育機関への就学支援に取り組みます。
⑪学校における働き方改革の推進	北海道教育委員会の方針を踏まえ、本町が定めた「学校における働き方改革業務改善計画」等に基づき、部活動休養日及び学校閉庁日の取組を推進するとともに、部活動地域移行の検討等、関係機関と協議を進め、連携を図り、全ての学校における働き方改革を計画的に推進します。

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 （平成29年度） （実績）	2023年度 （令和5年度） （中間実績）	2028年度 （令和10年度） （目標）
児童・生徒用図書 の 充足率（小中合計）	%	89	99.1	100
地元食材を活用した給食の回数（地産地消）	回	21	41	50
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入している学校割合	%	0	100	100
北海道別海高等学校普通科の間口確保	学級	3	3	3
酪農経営科生徒数	生徒数	10	12	40
学校閉庁日を年9日以上実施している小・中学校の割合	%	—	100	100
部活動休養日を完全に実施している部活動の割合	%	—	100	100

※酪農経営科生徒数の2028年度（目標）数値の『40』は、北海道教育委員会が策定した「公立高等学校配置計画」（2024～2026年度）において、募集学級数が1学級（40名）と決定されていることから目標値としているものです。

6 主要な事業

児童・生徒の生きる力向上につながる事業	子どもたちの「生きる力」向上のため、別海型の授業・教育環境の構築を目指し、教師の「教師力の向上」と児童・生徒の「学力の向上」「生活力・体力向上」に向けた取組を推進します。
児童・生徒の読書活動推進事業	学校図書館図書を継続的に整備し、児童・生徒の読書活動を推進します。
A L T による外国語授業の充実事業	学習指導要領に基づき、小・中学校におけるA L T（外国語指導助手）を活用した外国語授業の充実を推進します。
学校施設及び設備の整備事業	老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」に基づき学校施設及び設備について計画的に整備を進めます。特に優先的な施設更新を計画している別海中央小・中学校は、校舎一体型の義務教育学校として整備を進めます。
スクールバス更新事業	安全運行のため、車両の劣化状況を見極め、計画的なスクールバスの更新を行います。
別海型コミュニティ・スクール推進事業	地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組を推進します。
北海道別海高等学校への教育支援事業	寄宿施設への助成をはじめ各種支援事業を推進し、地域特性を踏まえた魅力ある高校として選択できる環境を整え、普通科3学級の確保及び酪農経営科の増員につなげます。



3 青少年の健全育成

1 現状

近年、少子化や核家族化の進行、社会環境の変化により、青少年期の親子のふれあい不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域社会での人間関係の希薄化、異なる年齢間での交流の減少等が指摘されており、本町においても同様な状況にあります。

そのような環境の中、特にスマートフォンやインターネットなどメディアとの付き合い方をコントロールする授業については、例年、各小・中学校、高校を巡回し、児童・生徒だけではなく保護者に対しても実施しています。

また、体験・交流活動に関しては、子ども会事業や、公民館・郷土資料館・スポーツセンター事業等のほか、友好都市である枚方市の中学生と本町の中学生が相互に隔年で訪問を行う「少年少女ふれあいの翼事業」を継続しており、異なる文化、自然、産業を体験するとともに、互いの交流を図っています。

さらに、町内の小・中・高で組織している音楽団体が一堂に会す「別海町小中高校合同音楽祭」を開催するなど、児童・生徒の各種発表の機会の充実を図っています。

2 課題

道内各地ではインターネットを介した犯罪等に巻き込まれる事案が増加しているため、今後は、こうした事案の発生を予防するため啓発活動を行う必要があります。

特に、通信機器による情報の発信や入手はどこでも・誰でも可能となりましたが、安心安全に使用するための働きかけは今後の大きな課題となっています。

早寝・早起きなどの生活習慣に関しては、子どもたちの生きる力に関わる重要な課題であるという認識に立ち、今後も家庭・学校・地域が連携して粘り強く取り組んでいく必要があります。

青少年を対象としたスポーツ活動や体験等の教室・講座の実施にあたっては、単に種目や目的にとらわれず、町への郷土愛を育むために、地域の歴史や文化、自然等に触れる機会を設け、ふるさとを学ぶ機会の充実を図る必要があります。

3 施策の目的

青少年が本町の次代の担い手として、豊かな社会性を養い、健やかに成長できるよう、地域全体で見守り、育てる健全育成活動を積極的に推進し、郷土愛を育みます。

4 主要施策

①まちぐるみでの青少年健全育成体制の確立と教育力の向上	スマートフォン等の適正な利用や、インターネットを介した犯罪の発生を未然に防止するための活動を展開します。 また、生活習慣改善・メディアコントロール*においては、学校・家庭・地域との相互理解と協力が重要であり、町全体での取組を進めます。
②青少年の体験・交流事業等の促進	伝統文化を通じた異世代の交流や友好都市との交流事業、青少年を対象とした教室・講座の開催等により、青少年にさまざまな体験や交流、職業体験の機会をつくります。
③青少年団体の育成	交流、研修の機会を提供することで、青少年のリーダー養成や指導者の育成・確保に努めます。
④スポーツや文化活動を通じたふるさと学習への取組	スポーツ少年団活動や、スポーツ協会及び文化連盟の教室や講座、イベント等において、町の歴史、文化や自然に触れる機会を増やし郷土愛を育む取組を促進します。

総合戦略

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)
メディアコントロール授業の実施数	回	3	3	3
メディアコントロールWEEK時の小学校高学年の1日当たりのメディア利用平均時間	分	118	145	110
青少年対象の体育的事業数	回	6	11	9
青少年対象の歴史や文化、自然体験を組み入れた事業数	回	11	11	14
子ども会育成者数	人	199	198	200

6 主要な事業

児童・生徒の生活習慣改善を啓発する事業	スローガン「早寝・早起き・朝ごはん・テレビを止めて外遊び」「スイッチOFF22」を主眼としたメディアコントロールの取組を推進します。
中学校生徒による友好都市との交流事業	友好都市である枚方市の中学生と、本町の中学生との交流により、青少年の健全育成と将来のまちづくりに生かします。
社会教育団体への支援と育成事業	団体への補助金等の交付だけではなく、町の歴史や文化、自然等にも触れる事業への展開により、郷土愛を育てます。
体験学習事業	中央・西・東の3公民館にて、小学生を対象に学校や家庭で体験できない野外活動・社会活動・交流活動の拡大を図り、生きる力を育みます。
子どもまつり事業	地域の協力のもと、3公民館が「こどもの日」の時期に合わせて実施する、親子で参加できる各種催しを通し、地域との連帯感と青少年の健全育成に取り組めます。
郷土資料館サマースクール・ウィンタースクール事業	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の本町の未来を探求させる心を育てます。

*用語解説「※」は、全体版を参照



4 地域文化の振興

1 現状

芸術・文化は、人生に楽しみと潤いをもたらし、地域の活気と魅力を引き出すことに大きな役割を果たしており、一人ひとりが心豊かに生きる社会を目指すためにも、更なる地域文化の振興を図ることが求められています。

本町では、生涯学習環境の充実を目指し、町民に対し生涯学習センターみなくる及び西・東公民館での学習機会等を提供しています

文化財では、指定文化財が国2件・道1件・町16件の計19件あり、埋蔵文化財包蔵地は88か所が確認されています。国の史跡である旧奥行臼駅通所と、2024年度（令和6年度）に国の天然記念物に格上げとなった西別湿原ヤチカンバ群落については、専門の検討委員会を設置し、今後の保護・活用策の検討を行っています。

国の登録文化財制度に準じた「別海町歴史文化遺産」は、19件を認定しており、順次解説看板設置などの整備を進めています。

指定・未指定の文化財を保存・公開する施設としては、郷土資料館、郷土資料館附属施設加賀家文書館、郷土資料館豊原分館があります。

2024年度（令和6年度）には、文化財保護法に基づく歴史文化の保存・活用に関する総合的な計画である別海町文化財保存活用地域計画を策定しています。

各地区においては、文化協会や公民館運営審議委員、分館推進委員が中心となり特色のある文化祭を毎年開催するとともに、文化講演会や芸術及び音楽鑑賞事業等を開催するなど、町民の身近なところで芸術・文化に触れることができるよう事業を実施しています。

また、町内で活動する芸術・文化団体を育成するため、指導助言を行っているほか、町民文化の普及振興に貢献された町民（団体）を表彰しています。

2 課題

人口減少や少子高齢社会の進行、ライフスタイルの多様化など、地域のつながりが希薄化する中で、今後文化財をどのように守り、継承していくかが大きな課題です。また、町民の文化財に対する興味・関心は必ずしも高くないことから、積極的な情報発信が不可欠です。

奥行地区には史跡旧奥行臼駅通所を筆頭に交通遺跡が集中していることから、着実に整備を実施していく必要があります。国の天然記念物となった西別湿原ヤチカンバ群落は、まず個別の保存活用計画を策定した上で、保護方策を講じることが求められます。

郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処することが必要となります。

文化祭に関しては、サークル数の減少や会員の高齢化、活動内容の固定化に伴い、新しいサークルの発掘や新たな種目を提示する講座の開催等が必要な状況となっています。また、現行団体に対して、継続的に活動が展開されるよう積極的に支援を行う必要があります。

2022年（令和4年）に運用が開始された生涯学習センターみなくるを中心に、実施される芸術・文化の鑑賞にも大きな期待があることから、今まで以上に町民のニーズに即したイベ

ント・講座等を実施することが課題となっています。また、芸術文化に触れる・学べる機会を増やすため、近隣市町や関係団体等と連携しながら、芸術文化の講演等の鑑賞支援を拡充する必要があります。

3 施策の目的

地域に根ざした文化の継承と個性あふれる文化の創造に向け、町民主体の芸術・文化活動を一層推進するとともに、貴重な文化財の保存・活用を進めることで、町民が多種多様な文化財に親しみを持ち、町の魅力を再認識し、誇りを持って住み続けられる町を目指します。

4 主要施策

①芸術・文化施設の整備充実	西・東公民館の老朽化に伴う整備を進めます。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。
②文化財保存公開施設の整備充実	郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。地域活性化に資する施設を目指します。
③文化遺産の保存と活用	奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、整備を進めます。西別湿原ヤチカンバ群落については、保存活用計画の策定に向けて調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を公開し、必要な整備を行います。
④芸術・文化団体、指導者の育成	町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を目的とした指導・助言等を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。
⑤芸術文化イベント等の充実	各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、文化講演会やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 （平成29年度） （実績）	2023年度 （令和5年度） （中間実績）	2028年度 （令和10年度） （目標）
文化財施設の入場者数	人	1,492 (2013年度)	2,413	3,000
文化祭の参加者数	人	12,341	7,559	10,150
芸術文化講座開催数	講座	5	14	8
郷土資料館入館者満足度	%	83	82	90
郷土資料館関係事業満足度	%	95	95	95

6 主要な事業

総合文化祭・地域文化祭事業	地域間や異世代間の交流や特色ある芸術文化活動を通じて、町民が一体となったまちづくりのため、文化祭を開催します。
芸術文化鑑賞事業	町民が芸術文化への関心と理解を深めるために、その機会を提供する芸術文化鑑賞を拡充します。
文化団体活動支援事業	文化団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。
郷土資料館整備方針の策定事業	老朽化の進んでいる、郷土資料館本館及び豊原分館の施設整備方針を検討し、計画的な整備を進めます。
郷土資料館が実施する各種事業	講座・講演会等を開催し、郷土の歴史・文化に触れる機会を拡充します。
奥行臼史跡公園整備事業	奥行地区に集中する3つの交通遺産を核とした整備を進め、交流人口の拡大を推進します。
天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落保存整備事業	保存活用計画策定に向けて調査を進めるとともに、策定後は保護対策を講じて恒久的な保存に取り組みます。



5 スポーツの振興

1 現状

スポーツは、健康増進や体力向上だけでなく、楽しく活動することにより、気分転換や仲間づくりにもつながり、明るく豊かで活力に満ちた地域社会をつくる上で、大きな役割を担っています。そのため、競技性だけを求めるのではなく、町民の健康づくりや体力づくりの面からもスポーツの振興に取り組んでいます。

本町では、スポーツ施設の中核を担う町民体育館の大規模改修をはじめ、老朽化の進むスポーツ施設の計画的な修繕を実施し、スポーツ施設機能の充実と利用の促進を図っていますが、人口の減少に伴い、施設全体の利用者数は減少傾向にあります。

2014年度（平成26年度）には総合スポーツセンター施設に「指定管理者制度」を導入したことにより、施設の管理だけでなく、町民のニーズに対応したスポーツ教室の開催、施設開放時間の延長によるサービス向上を図っています。また、著名なスポーツ選手を招き、競技力向上セミナー等を開催して、アスリートの養成を目指すほか、健康管理や栄養管理の必要性について学ぶ機会を設け、町民の意識の醸成を図っています。

また、道内最古の歴史を誇り、道東地区唯一の公認フルマラソンコースで実施する「別海町パイロットマラソン」やスポーツ合宿の受入は、スポーツの振興のみならず、本町のPR効果や宿泊業・小売業への経済効果をもたらしています。

2 課題

スポーツ施設数が多いため、改修計画を定め、順次改修等を実施することが求められています。また、人口減少や少子化、高齢化によるスポーツ人口の減少が進む中、競技者や指導者の確保と育成が大きな課題となっています。

利用者数については、一部の施設を除き減少傾向にあることから、今後は各施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、ニーズの収集や情報提供を図る必要があります。また、申込数が少ない事業や年々申込数が減少傾向にある事業もあることから、事業内容について見直しを行うとともに、広報・啓発活動を強化し、スポーツ人口の底上げを図る必要があります。

スポーツ少年団や、スポーツ協会の会員数は少子化や高齢化により、年々減少し始めており、活動に支障を来している団体も増えていることから、指導者の育成や支援とともに、町民へのスポーツの生み出す効果や魅力を発信することが今後の課題となっています。

パイロットマラソンの参加者数は、全国的なマラソンブームが落ち着き、近年は横ばい傾向でしたが、コロナ禍による中止を経て3年ぶりに開催された2022年度（令和4年度）大会、及び2023年度（令和5年度）大会においては、全国各地で開催されている他の多くのマラソン大会同様、コロナ禍前の水準には届いていない状況にあります。

このため、現在の参加範囲から新たに小学校低学年等が参加できる種目を設定するなど、参加者の確保に向けた取組を行う必要があります。

3 施策の目的

全ての町民がそれぞれの体力や年齢に応じてスポーツを楽しみ、健康づくりとスポーツ交流による活力ある地域づくりにつなげられるよう、活動の場と機会の充実に取り組みます。

4 主要施策

①スポーツ施設の整備 充実・有効活用 総合戦略	特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。
②多様なスポーツ活動 の普及促進 総合戦略	屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。
③スポーツ団体、指導者 の育成と強化	スポーツ協会やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。
④スポーツイベントの 充実	スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。
⑤スポーツによるまち づくり・交流活動の 促進 総合戦略	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。
⑥スポーツを通したふ るさと学習と郷土愛 の育成	競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)
スポーツ施設の利用者数	人	160,902	125,836	161,000
パイロットマラソン参加者数	人	1,522	1,069	1,600
健康づくり事業への参加者数	人	877	808	900
指定管理者の主催事業数	回	1	7	7
スポーツ少年団の指導者数	人	176	110	170
スポーツ協会の会員数	人	1,011	688	680

6 主要な事業

屋外スポーツセンター施設の改修事業	町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。
スポーツ団体活動支援事業	スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。
パイロットマラソン開催事業	マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。
子どもの体力向上事業	スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。
コンビニスポーツ教室の普及	「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。

6 交流時代への対応

1 現状

少子超高齢社会、経済のグローバル化、交通ネットワークや情報・通信分野等の進展により、多くの地方自治体でも地域の活性化や人材育成、さらには多様な視点を持ったまちづくりを進めることを目的に、国内外での交流が活発に行われています。そのため、近隣自治体及び道内市町村との連携のみならず、人的・経済的交流を活発化させることで人材育成、地域政策及び産業振興につなげる交流がますます重要な取組となっています。

本町は、大阪府枚方市から本町酪農家へ嫁いだ方の働きかけが契機となり、1987年（昭和62年）に枚方市と友好都市宣言を行っています。枚方市をはじめ近郊都市からは、本町の酪農の後継者不足問題を解決するため「菊と緑の会」を通じて、パートナーを迎え入れているほか、物産展の交流、ふれあいの翼事業による児童・生徒の交流、スポーツ交流を活発に展開しています。また、1994年（平成6年）には、枚方市と友好都市提携している沖縄県名護市、高知県四万十市と共に、友好都市サミット協議会を設立しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、交流活動が一時的に停滞する時期もありましたが、情報化の進展に伴い、WEB会議など、デジタル技術を活用した新しい形の交流を進めています。

また、スポーツ合宿受入協議会による実業団や大学などのスポーツチームの受入やインカレねむろ事業推進協議会による大学ゼミ合宿受入など、合宿誘致活動の推進により、町のPRや地域経済の振興、交流人口及び関係人口の増加に取り組んでいます。

2 課題

枚方市とは、長い交流の歴史を経て、人材育成、担い手対策、物産事業など幅広い交流活動を展開してきました。同様に、名護市、四万十市との交流を活性化させることで、自治体経営の新たな気づきや多様な視点を持った人材育成、経済活動のきっかけとなる物産交流など、新たな取組の創出が求められています。

スポーツ合宿の受入に関しては、今後も力を入れる必要がある一方で、合宿実施時期と観光シーズンが重なるため、宿泊施設の確保や宿泊方法の検討が必要になるとともに、町民に対して合宿の情報を発信し、活動への理解を深め、受入環境整備の協力が得られるような取組が必要です。

3 施策の目的

国際化時代、交流時代に対応した人材や地域づくりに向け、地域間交流、国際交流等さまざまな活動を推進し、交流人口を増加させることにより、町の情報発信や地域の活性化につなげます。

4 主要施策

①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。
②多様な交流・連携の展開	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 （平成29年度） （実績）	2023年度 （令和5年度） （中間実績）	2028年度 （令和10年度） （目標）
友好都市への訪問人数 （期間累計）	人	248	101	200
友好都市からの訪問人数 （期間累計）	人	313	75	200
友好都市間の連携事業数	事業	10	8	12
スポーツ合宿受入チーム数	団体	16	5	10

6 主要な事業

友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市との積極的な交流を推進します。
----------------------	--------------------

第4章 生涯を通じて人と文化を育む学びのまち

地域ぐるみで 心豊かなまちづくり



1 社会教育の推進

1 現状

少子超高齢社会の進行や情報通信技術の急速な発展等により、社会環境や家庭生活は大きく変化し、求められる学習ニーズが多様化しています。また、人生100年時代を豊かに生きていくために、全ての人が健康で、生きがいを持って暮らせる社会を実現する上で、生涯にわたって学習できる環境を整えることは、個人の人生を豊かにするだけでなく、学習成果を地域社会に還元することにもなり、魅力と活力ある地域づくりにつながっています。

本町では、身近な学びの拠点である生涯学習センターみなくるや各公民館、スポーツセンター、図書館等を中心に町民の多様な学習を支援するとともに、幅広い学習ニーズの把握に努め、さまざまな講座・教室・講演会等の学習機会の提供を行っています。

また、社会教育関係団体への活動支援を行い、自主的な社会教育活動を促進させるとともに、多分野の指導者の人材育成を進めています。

2 課題

西・東公民館及び郷土資料館をはじめとした社会教育施設の老朽化が進んでおり、緊急性や費用対効果を踏まえて計画的に改修や更新等を行う必要があります。

また、各社会教育施設では、幅広い世代のニーズを的確にくみ取り、学習機会を提供するとともに、活動に対する情報提供や相談業務についても、積極的かつきめ細やかに対応することが求められています。

図書館は、今後も継続して蔵書の整備を進めるだけでなく、利用者ニーズの多様化・高度化に応えられる情報・資料の提供が求められており、そのため新刊図書購入の継続やレファレンス*資料更新、基幹産業関連図書の購入・更新や郷土資料の収集保存にも力を入れる必要があります。

今後は、まちづくりの主体である町民の活動を支える地域の拠点として、生涯学習センターみなくるをはじめ各公民館の集約された機能が、地域や学校等に幅広く影響を与えられるよう「学校応援ボランティア」や、地域・学校協働における「地域コーディネーター」等の人材を活用し、町民と行政が一体となった地域づくりを行うことが重要となっています。

3 施策の目的

誰もが心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、魅力と活力ある地域づくりにつなげるため、子どもから高齢者まで全ての世代が学べる社会教育の環境づくりを推進します。

第4章 生涯を通じて人と文化を育む学びのまち

地域ぐるみで 心豊かなまちづくり

1 社会教育の推進

1 現状

少子超高齢社会の進行や情報通信技術の急速な発展等により、社会環境や家庭生活は大きく変化し、求められる学習ニーズが多様化しています。また、高齢者を含む全ての人が健康で、生きがいを持って暮らせる社会を実現する上で、生涯にわたって学習できる環境を整えることは、個人の人生を豊かにするだけでなく、学習成果を地域社会に還元することにもなり、魅力と活力ある地域づくりにつながっています。

本町では、身近な学びの拠点である3つの公民館や、スポーツセンター、図書館等を中心に町民の多様な学習を支援するとともに、幅広い学習ニーズの把握に努め、さまざまな講座・教室・講演会等の学習機会の提供を行っています。

また、社会教育関係団体への活動支援を行い、自主的な社会教育活動を促進させ、学校現場の求めに応じたさまざまな分野の指導者を育成するとともに、「学校応援ボランティアリスト」への登録を進めています。

2 課題

生涯学習センターは、2022年度の供用開始を目指して準備を進めていますが、郷土資料館をはじめとした社会教育施設の老朽化が進んでおり、緊急性や費用対効果を踏まえて計画的に改修や更新等を行う必要があります。

また、各社会教育施設では、幅広い世代のニーズを的確にくみ取り、学習機会を提供するとともに、活動に対する情報提供や相談業務についても、積極的かつきめ細やかに対応することが求められています。

特に図書館は、今後も継続して蔵書の整備を進めるだけでなく、利用者ニーズの多様化・高度化に応えられる情報・資料の提供が求められており、そのため新刊図書購入の継続やレファレンス*資料更新、基幹産業関連図書の購入・更新や郷土資料の収集保存にも力を入れる必要があります。また、施設の運営体制に係る開館日時や移動図書館車の運行、学校図書館を含む関係施設との連携、司書など適切な人員確保についての検討が求められています。

今後は、まちづくりの主体である町民の活動を支える地域の拠点として、生涯学習センターをはじめ各公民館の集約された機能が、地域や学校等に幅広く影響を与えられるよう「学校応援ボランティアリスト」をより有効に活用するなど、町民と行政が一体となって地域をつくり、つないでいくことが重要となっています。

3 施策の目的

誰もが心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、魅力と活力ある地域づくりにつなげるため、子どもから高齢者まで全ての世代が学べる社会教育の環境づくりを推進します。

改定後		改定前		備考
4 主要施策		4 主要施策		
①社会教育関連施設の充実	西・東公民館及び郷土資料館そのほかの施設について、設備や機能等の老朽化がみられるため、計画的に改修や更新を行い、利活用を推進します。	①社会教育関連施設の充実	中央公民館を生涯学習センターに建て替え、2022年度に供用開始できるよう準備を進めます。そのほかの施設についても、老朽化がみられるため、計画的に改修や更新を行います。	
②特色ある社会教育プログラムの整備と提供	町民のニーズを的確に捉え、事業や講座等を計画的に実施し、学習機会等の提供を図るとともに、町民に広く情報提供ができるよう広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。	②特色ある社会教育プログラムの整備と提供	町民のニーズを的確に捉え、事業や講座等を計画的に実施し、学習機会等の提供を図るとともに、町民に広く情報提供ができるよう広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。	
③図書館の充実	利用者ニーズの多様化・高度化に対応できる情報収集と資料提供に向けて、今後も蔵書整備を継続し、利用率の高い書架を整備するとともに、円滑なレファレンスサービス対応ができるように、司書などの適切な人員を確保します。また施設・機器の劣化により運営に支障を来すことのないよう、計画的に整備を進めます。	③図書館の充実	利用者ニーズの多様化・高度化に対応できる情報収集と資料提供に向けて、今後も蔵書整備を継続し、利用率の高い書架を整備するとともに、円滑なレファレンスサービス対応ができるように、司書などの適切な人員を確保します。また施設・機器の劣化により運営に支障を来すことのないよう、計画的に整備を進めます。	
④団体等の活動支援と地域の担い手の養成	社会教育関係団体への活動支援として、学習環境の整備と機会の充実を図ることで、地域の人材を育成するとともに、学校応援ボランティア等を活用することで、学習の成果を学校や地域において発揮できるよう進めます。	④団体等の活動支援と地域の担い手の養成	社会教育関係団体への活動支援として、学習環境の整備と機会の充実を図ることで、地域の人材を育成するとともに、「学校応援ボランティアリスト」等を活用することで、学習の成果を学校や地域において発揮できるよう進めます。	
5 重要業績評価指標（KPI）		5 重要業績評価指標（KPI）		
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)
生涯学習「ふれあいトーク宅配講座」講座開講数	件	42	33	50
学校応援ボランティア利用件数	件	15	12	16
公民館利用者数（生涯学習センター、西、東公民館）	人	70,006	57,760	58,000
公民館講座開設数	講座	23	31	26
寿大学受講者数	人	1,682	1,023	1,350
町民一人当たりの貸出冊数	冊	5.13	3.91	4.50
図書館でのお話会等への参加者数	人	168	119	150
図書館利用者数（移動図書館車・上西春別中開放図書室利用者を含む）	人	21,052	14,422	18,000
児童・生徒の朝読率	%	=	100	100
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)
生涯学習「ふれあいトーク宅配講座」講座開講数	件	42	50	50
学校応援ボランティア利用件数	件	15	16	16
公民館利用者数（生涯学習センター）	人	70,006	76,000	78,000
公民館講座開設数	講座	23	26	26
平成寿大学受講者数	人	1,682	1,800	2,000
町民一人当たりの貸出冊数	冊	5.13	5.20	5.50
図書館でのお話会等への参加者数	人	168	240	257
図書館利用者数（移動図書館車・上西春別中開放図書室利用者を含む）	人	21,052	21,100	21,400
児童・生徒の不読率	%	13.7	9.75	8
6 主要な事業		6 主要な事業		
社会教育施設及び設備の延命化事業	西・東公民館及び図書館等の老朽化に対応し、2020年（令和2年）に策定した当該施設の「長寿命化計画」に基づき、計画的に補修改修を行い、住民サービスの向上に取り組みます。	生涯学習センター建設事業	2022年度供用開始に向けての準備と、その後の積極的な事業推進に取り組みます。	
読書普及事業	利用者ニーズに対応した図書及び資料の整備を継続するとともに各種イベントを実施し、読書意欲の向上と利用促進を図ります。	社会教育施設及び設備の延命化事業	西・東公民館及び図書館等の老朽化に対応し、当該施設の「長寿命化計画」を策定し、計画的に補修改修を行い、住民サービスの向上に取り組みます。	
住民参画型社会教育プログラム事業	「学びの木」にある学ぶ機会の提供と地域住民との協働による特色ある事業を推進します。	図書館機能の向上事業	利用者ニーズの多様化・高度化に対応できる情報収集と資料提供に向けて、図書及び資料の整備を継続します。	
		住民参画型社会教育プログラム事業	「学びの木」にある学ぶ機会の提供と生涯学習推進アドバイザーからの指導等による特色ある事業を推進します。	

改定後



2 学校教育の充実

1 現状

これからの社会は、IoT*やビッグデータ*、人工知能（AI）をはじめとする急速な技術革新やグローバル化、少子超高齢社会、消費社会等の一層の進展などにより大きく変化することが予想されています。

本町の学校数は、2008年（平成20年）5月当時、町立小学校11校（児童数1,004人）、中学校9校（生徒数467人）で、その後、2009年（平成21年）3月には豊原、美原小学校が、2016年（平成28年）3月には別海小・中学校が閉校となり、2018年（平成30年）5月現在においては、町立小学校8校、中学校8校となっています。今後の児童・生徒数についても減少が見込まれていることを踏まえ、小中一貫教育など新しい教育制度を見据えた学校の在り方について検討を進めています。

これまで、本町では、安全・安心な給食を継続して提供するため、学校給食センターを改築し、耐震化に向けた中春別中学校及び上西春別中学校の改築をはじめ、計画的な学校施設の整備を図っています。

また、2014年度（平成26年度）に入学者の減少により普通科が2学級となった地元北海道別海高等学校については、町及び各種関係団体による要請活動の実施や各種支援事業を推進し、2017年度（平成29年度）から入学者募集時の普通科3学級が確保され、寄宿施設への助成をはじめとする各種支援事業を推進しています。

さらに、本町における学校教育の充実に向けて、社会変化に対応したICTを活用した教育など教育内容の充実、ALT*の配置など国際化への対応、心の問題への対応、子どもの安全対策及び教育環境の整備等を積極的に進めています。

2 課題

変化が激しく、今後の予測が困難な時代の中、本町の将来を担う子どもたちの、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など「生きる力」を育むことが喫緊の課題となっています。

このような状況の中、「知・徳・体」の調和の取れた未来を担う人材として、心身共に健やかに成長することができる教育環境づくりが強く求められています。

このため、幼児教育の一層の充実、主体的で対話的で深い学びに代表されるアクティブ・ラーニング*を視野に入れた特色ある学校教育活動の推進をはじめ、特別支援教育の充実や心の問題への対応を引き続き推進する必要があります。

また、老朽化した学校施設設備については、小中一貫教育を推進する町の方針を踏まえた計画的な整備が求められています。

さらに、学校、家庭、地域及び関係機関等が連携した子どもの安全性の確保、地域と共にある学校づくりを進めるコミュニティ・スクール*の推進、地域の特性を踏まえたふるさとキャリア教育、高等教育支援等の充実など総合的な取組を一体的に進める必要があります。

改定前

備考

2 学校教育の充実

1 現状

これからの社会は、IoT*やビッグデータ*、人工知能（AI）をはじめとする急速な技術革新やグローバル化、少子超高齢社会、消費社会等の一層の進展などにより大きく変化することが予想されています。

本町の学校数は、2008年（平成20年）5月当時、町立小学校11校（児童数1,004人）、中学校9校（生徒数467人）で、その後、2009年（平成21年）3月には豊原、美原小学校が、2016年（平成28年）3月には別海小・中学校が閉校となり、2018年（平成30年）5月現在においては、町立小学校8校、中学校8校となっています。今後の児童・生徒数についても減少が見込まれています。

これまで、本町では、安全・安心な給食を継続して提供するため、老朽化の進む学校給食センターの改築工事に着手するとともに、耐震化に向けた中春別中学校及び上西春別中学校の改築をはじめ、計画的な学校施設の整備を図っています。

また、2014年度（平成26年度）に入学者の減少により普通科が2学級となった地元北海道別海高等学校については、町及び各種関係団体による要請活動の実施や各種支援事業を推進し、2017年度（平成29年度）から3学級が確保され、寄宿施設への助成をはじめとする各種支援事業を推進しています。

さらに、本町における学校教育の充実に向けて、社会変化に対応した教育内容の充実、ALT*の配置など国際化への対応、心の問題への対応、子どもの安全対策及び教育環境の整備等を積極的に進めています。

2 課題

変化が激しく、今後の予測が困難な時代の中、本町の将来を担う子どもたちの、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など「生きる力」を育むことが喫緊の課題となっています。

このような状況の中、「知・徳・体」の調和の取れた未来を担う人材として、心身共に健やかに成長することができる教育環境づくりが強く求められています。

このため、幼児教育の一層の充実、主体的で対話的で深い学びに代表されるアクティブ・ラーニング*を視野に入れた特色ある学校教育活動の推進をはじめ、特別支援教育の充実や心の問題への対応を引き続き推進する必要があります。

また、老朽化した学校施設及び設備の計画的な整備や、改築に着手している学校給食センターの運用開始が求められています。

さらに、学校、家庭、地域及び関係機関等が連携した子どもの安全性の確保、地域と共にある学校づくりを進めるコミュニティ・スクール*の導入、地域の特性を踏まえたふるさと教育やキャリア教育、高等教育支援等の充実など総合的な取組を一体的に進める必要があります。

改定後	改定前	備考																
<p>3 施策の目的</p> <p>次代の本町を担う人材の育成に向け、生きる力を重視した教育活動と信頼される学校づくりを進めながら、学校施設及び設備の計画的な整備や、地域の特性を生かし、地域が一体となった総合的な教育環境の向上に取り組みます。</p> <p>4 主要施策</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="142 506 572 793"> <p>①幼児教育の充実</p> </td> <td data-bbox="572 506 1341 793"> <p>2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。</p> <p>また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。</p> <p>さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう施設及び設備の計画的な整備を進めます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 793 572 1220"> <p>②学校教育の充実</p> <p>総合戦略</p> </td> <td data-bbox="572 793 1341 1220"> <p>基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。</p> <p>また、学びの土台となる力を伸長するため、NIE*活動の推進、読書活動の推進、<u>ICTを活用した教育の充実</u>等を進めます。</p> <p>さらに、小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に<u>対する</u>、ALTの<u>派遣</u>など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備・<u>充実</u>に取り組みます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1220 572 1646"> <p>③学校施設及び設備の整備</p> </td> <td data-bbox="572 1220 1341 1646"> <p>学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。<u>特に優先的な施設更新を計画している別海中央小学校及び別海中央中学校は、小中一貫教育を推進する町の方針を踏まえ、義務教育学校として整備を進めます。</u></p> <p>また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。</p> <p>さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるICT環境の整備を進めます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1646 572 1898"> <p>④特別支援教育の推進</p> </td> <td data-bbox="572 1646 1341 1898"> <p>町の教育支援委員会を中心に、<u>町内の公立・私立の認定こども園、へき地保育園</u>及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。</p> <p>また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。</p> </td> </tr> </table>	<p>①幼児教育の充実</p>	<p>2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。</p> <p>また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。</p> <p>さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう施設及び設備の計画的な整備を進めます。</p>	<p>②学校教育の充実</p> <p>総合戦略</p>	<p>基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。</p> <p>また、学びの土台となる力を伸長するため、NIE*活動の推進、読書活動の推進、<u>ICTを活用した教育の充実</u>等を進めます。</p> <p>さらに、小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に<u>対する</u>、ALTの<u>派遣</u>など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備・<u>充実</u>に取り組みます。</p>	<p>③学校施設及び設備の整備</p>	<p>学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。<u>特に優先的な施設更新を計画している別海中央小学校及び別海中央中学校は、小中一貫教育を推進する町の方針を踏まえ、義務教育学校として整備を進めます。</u></p> <p>また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。</p> <p>さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるICT環境の整備を進めます。</p>	<p>④特別支援教育の推進</p>	<p>町の教育支援委員会を中心に、<u>町内の公立・私立の認定こども園、へき地保育園</u>及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。</p> <p>また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。</p>	<p>3 施策の目的</p> <p>次代の本町を担う人材の育成に向け、生きる力を重視した教育活動と信頼される学校づくりを進めながら、学校施設及び設備の計画的な整備や、地域の特性を生かし、地域が一体となった総合的な教育環境の向上に取り組みます。</p> <p>4 主要施策</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1427 506 1857 793"> <p>①幼児教育の充実</p> </td> <td data-bbox="1857 506 2626 793"> <p>2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。</p> <p>また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。</p> <p>さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう<u>幼稚園</u>施設及び設備の計画的な整備を進めます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 793 1857 1220"> <p>②学校教育の充実</p> </td> <td data-bbox="1857 793 2626 1220"> <p>基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、<u>次期</u>学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。</p> <p>また、学びの土台となる力を伸長するため、NIE*活動の推進、読書活動の推進、<u>図書館司書と学校が連携した魅力ある学校図書館づくり、児童・生徒用図書</u>の整備等を進めます。</p> <p>さらに、<u>2018年度（平成30年度）からの移行期間を経て2020年度から実施される</u>小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に<u>向けて</u>、ALTの<u>増員</u>など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備に取り組みます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 1220 1857 1646"> <p>③学校施設及び設備の整備</p> </td> <td data-bbox="1857 1220 2626 1646"> <p>学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。</p> <p>また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。</p> <p>さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるICT*環境の整備を進めます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 1646 1857 1898"> <p>④特別支援教育の推進</p> </td> <td data-bbox="1857 1646 2626 1898"> <p>町の教育支援委員会を中心に<u>保育園、幼稚園</u>及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。</p> <p>また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。</p> </td> </tr> </table>	<p>①幼児教育の充実</p>	<p>2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。</p> <p>また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。</p> <p>さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう<u>幼稚園</u>施設及び設備の計画的な整備を進めます。</p>	<p>②学校教育の充実</p>	<p>基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、<u>次期</u>学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。</p> <p>また、学びの土台となる力を伸長するため、NIE*活動の推進、読書活動の推進、<u>図書館司書と学校が連携した魅力ある学校図書館づくり、児童・生徒用図書</u>の整備等を進めます。</p> <p>さらに、<u>2018年度（平成30年度）からの移行期間を経て2020年度から実施される</u>小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に<u>向けて</u>、ALTの<u>増員</u>など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備に取り組みます。</p>	<p>③学校施設及び設備の整備</p>	<p>学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。</p> <p>また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。</p> <p>さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるICT*環境の整備を進めます。</p>	<p>④特別支援教育の推進</p>	<p>町の教育支援委員会を中心に<u>保育園、幼稚園</u>及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。</p> <p>また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。</p>	
<p>①幼児教育の充実</p>	<p>2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。</p> <p>また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。</p> <p>さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう施設及び設備の計画的な整備を進めます。</p>																	
<p>②学校教育の充実</p> <p>総合戦略</p>	<p>基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。</p> <p>また、学びの土台となる力を伸長するため、NIE*活動の推進、読書活動の推進、<u>ICTを活用した教育の充実</u>等を進めます。</p> <p>さらに、小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に<u>対する</u>、ALTの<u>派遣</u>など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備・<u>充実</u>に取り組みます。</p>																	
<p>③学校施設及び設備の整備</p>	<p>学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。<u>特に優先的な施設更新を計画している別海中央小学校及び別海中央中学校は、小中一貫教育を推進する町の方針を踏まえ、義務教育学校として整備を進めます。</u></p> <p>また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。</p> <p>さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるICT環境の整備を進めます。</p>																	
<p>④特別支援教育の推進</p>	<p>町の教育支援委員会を中心に、<u>町内の公立・私立の認定こども園、へき地保育園</u>及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。</p> <p>また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。</p>																	
<p>①幼児教育の充実</p>	<p>2018年度（平成30年度）施行の幼稚園教育要領の中で示されている「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の姿」の達成に向けた教育環境の整備を推進します。</p> <p>また、義務教育との連携には、「生活する力、学ぶ力、かかわる力」の育成に重点を置いた別海版接続カリキュラムを一層活用し、就学段階における学びの連携を強化します。</p> <p>さらに、園児が安全で快適な環境で学ぶことができるよう<u>幼稚園</u>施設及び設備の計画的な整備を進めます。</p>																	
<p>②学校教育の充実</p>	<p>基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、<u>次期</u>学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。</p> <p>また、学びの土台となる力を伸長するため、NIE*活動の推進、読書活動の推進、<u>図書館司書と学校が連携した魅力ある学校図書館づくり、児童・生徒用図書</u>の整備等を進めます。</p> <p>さらに、<u>2018年度（平成30年度）からの移行期間を経て2020年度から実施される</u>小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科に<u>向けて</u>、ALTの<u>増員</u>など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備に取り組みます。</p>																	
<p>③学校施設及び設備の整備</p>	<p>学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。</p> <p>また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。</p> <p>さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校におけるICT*環境の整備を進めます。</p>																	
<p>④特別支援教育の推進</p>	<p>町の教育支援委員会を中心に<u>保育園、幼稚園</u>及び小・中学校における日常観察の実施、臨床心理士と連携した小学校就学前の5歳時の教育相談など、関係機関との連携のもと、必要な支援や適切な指導の充実に取り組みます。</p> <p>また、特別支援教育支援員の適切な人員確保と計画的な配置を推進し、教育支援体制を整備します。</p>																	

改定後		改定前		備考
⑤心の問題への対応	別海町子どものいじめ防止に関する基本方針等を踏まえ、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応に向け、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、「ふれあいるーむ」の指導員等の連携により教育相談を充実します。 また、教育支援センター「ふれあいるーむ」の体制強化を図り、町内全域の児童・生徒を十分に支援する体制づくりを進めます。	⑤心の問題への対応	別海町子どものいじめ防止に関する基本方針等を踏まえ、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応に向け、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、「ふれあいるーむ」の指導員等の連携により教育相談を充実します。 また、教育支援センター「ふれあいるーむ」の体制強化を図り、町内全域の児童・生徒を十分に支援する体制づくりを進めます。 <u>さらに、インターネット上のトラブルから児童・生徒を守る取組を推進します。</u>	
⑥学校給食の充実	<u>2020年(令和2年)4月から新しい学校給食センターの運用を開始しています。</u> 新しい学校給食センターでは、地産地消の取組や各学校等と連携した食育の場として活用し、今後も安全・安心な学校給食の提供を行います。	⑥学校給食の充実	<u>老朽化の著しい学校給食センターは、改築事業に着手しており、2020年度からの運用開始を予定しています。</u> 新しい学校給食センターでは、地産地消の取組や各学校等と連携した食育の場として活用し、今後も安全・安心な学校給食の提供を行います。	
⑦スクールバスの効果的な運行	広大な地域特性から、学校教育に欠かせないスクールバスについては、今後も児童・生徒に負担の少ない効果的な <u>運行を行います。また、安全運行のため車両劣化状況を見極め、</u> 計画的な更新を行うとともに、仕様や適切な台数について検討を進めます。	⑦スクールバスの効果的な運行	広大な地域特性から、学校教育に欠かせないスクールバスについては、今後も児童・生徒に負担の少ない効果的な <u>運行に向け、</u> 計画的な更新を行うとともに、仕様や適切な台数について検討を進めます。	
⑧子どもの安全性の確保	学校管理下や登下校時に児童・生徒が犯罪や交通事故、自然災害等から身を守ることができるよう、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、別海町通学路交通安全プログラム <u>や災害マニュアル</u> 等に基づき、子ども <u>たち</u> の安全性を確保します。	⑧子どもの安全性の確保	学校管理下や登下校時に児童・生徒が犯罪や交通事故、自然災害等から身を守ることができるよう、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、別海町通学路交通安全プログラム等に基づき、子どもの安全性を確保します。 <u>また、別海町地域安全システム「まもメール」等を活用した啓発活動を行います。</u>	
⑨学校と地域の連携 総合戦略	「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、地域住民が学校運営や必要な支援について協議を行うコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の取組を推進します。 また、地域の特性を踏まえた体験活動、 <u>ふるさとキャリア教育、小中一貫教育</u> 等について、学校と地域が連携した取組を推進します。	⑨学校と地域の連携	「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、地域住民が学校運営や必要な支援について協議を行うコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の <u>町内全8学校区への円滑な導入に向けた</u> 取組を推進します。 また、地域の特性を踏まえた体験活動、 <u>キャリア教育、ふるさと教育</u> 等について、学校と地域が連携した取組を推進します。	
⑩高等教育支援等の充実 総合戦略	地域活性化や本町の経済振興を支える人材の育成を進めるため、地元別海高等学校への支援として、寄宿施設への助成をはじめ各種支援事業を推進するとともに、高校と町内各中学校が交流する機会を促進し、今後も魅力ある高校として選択できる環境を整え、普通科3学級の確保及び酪農経営科の増員につなげます。 また、保護者の経済的な負担軽減のため、奨学資金制度により高等教育機関への就学支援に取り組みます。	⑩高等教育支援等の充実	地域活性化や本町の経済振興を支える人材の育成を進めるため、地元別海高等学校への支援として、寄宿施設への助成をはじめ各種支援事業を推進するとともに、高校と町内各中学校が交流する機会を促進し、今後も魅力ある高校として選択できる環境を整え、普通科3学級の確保及び酪農経営科の増員につなげます。 また、保護者の経済的な負担軽減のため、奨学資金制度により高等教育機関への就学支援に取り組みます。	
⑪学校における働き方改革の推進	北海道教育委員会の方針を踏まえ、本町が定めた「学校における働き方改革業務改善計画」等に基づき、部活動休養日及び学校閉庁日の取組を推進するとともに、 <u>部活動地域移行</u> の検討等、関係機関と協議を進め、連携を図り、全ての学校における働き方改革を計画的に推進します。	⑪学校における働き方改革の推進	北海道教育委員会の方針を踏まえ、本町が定めた「学校における働き方改革業務改善計画」等に基づき、部活動休養日及び学校閉庁日の取組を推進するとともに、 <u>部活動指導員の配置</u> の検討等、関係機関と協議を進め、連携を図り、全ての学校における働き方改革を計画的に推進します。	

改定後

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)
児童・生徒用図書の充足率（小中合計）	%	89	99.1	100
地元食材を活用した給食の回数 (地産地消)	回	21	41	50
コミュニティ・スクール（学校運営協議 会制度）を導入している学校割合	%	0	100	100
北海道別海高等学校普通科の間口確保	学級	3	3	3
酪農経営科生徒数	生徒数	10	12	40
学校閉庁日を年9日以上実施している 小・中学校の割合	%	—	100	100
部活動休養日を完全に実施している部活 動の割合	%	—	100	100

※酪農経営科生徒数の2028年度（目標）数値の『40』は、北海道教育委員会が策定した「公立高等学校配置計画」（2024～2026年度）において、募集学級数が1学級（40名）と決定されていることから目標値としているものです。

6 主要な事業

児童・生徒の生きる力向上につな がる事業	子どもたちの「生きる力」向上のため、別海型の授業・教育環境の構築を目指し、教師の「教師力の向上」と児童・生徒の「学力の向上」「生活力・体力向上」に向けた取組を推進します。
児童・生徒の読書活動推進事業	学校図書館図書を継続的に整備し、児童・生徒の読書活動を推進します。
ALTによる外国語授業の充実 事業	学習指導要領に基づき、小・中学校におけるALT（外国語指導助手）を活用した外国語授業の充実を推進します。
学校施設及び設備の整備事業	老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」に基づき学校施設及び設備について計画的に整備を進めます。特に優先的な施設更新を計画している別海中央小・中学校は、校舎一体型の義務教育学校として整備を進めます。
スクールバス更新事業	安全運行のため、車両の劣化状況を見極め、計画的なスクールバスの更新を行います。
別海型コミュニティ・スクール推 進事業	地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組を推進します。
北海道別海高等学校への教育支 援事業	寄宿施設への助成をはじめ各種支援事業を推進し、地域特性を踏まえた魅力ある高校として選択できる環境を整え、普通科3学級の確保及び酪農経営科の増員につなげます。

改定前

備考

5 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)
児童・生徒用図書の充足率（小中合計）	%	89	97	100
地元食材を活用した給食の回数 (地産地消)	回	21	30	30
コミュニティ・スクール（学校運営協議 会制度）を導入している学校割合	%	0	100	100
北海道別海高等学校普通科の間口確保	学級	3	3	3
酪農経営科生徒数	生徒数	10	30	40
学校閉庁日を年9日以上実施している 小・中学校の割合	%	—	100	100
部活動休養日を完全に実施している部活 動の割合	%	—	100	100

※酪農経営科生徒数の2028年度（目標）数値の『40』は、北海道教育委員会が策定した「公立高等学校配置計画」（2019～2021年度）において、募集学級数が1学級（40名）と決定されていることから目標値としているものです。

6 主要な事業

児童・生徒の生き抜く力向上につ ながる事業	子どもたちの「生き抜く力」向上のため、別海型の授業・教育環境の構築を目指し、教師の「教師力の向上」と児童・生徒の「学力の向上」「生活力・体力向上」に向けた取組を推進します。
児童・生徒用図書の整備事業	学校図書館図書の標準充足率を達成し、児童・生徒の読書活動を推進します。
ALTによる外国語授業の充実 事業	新学習指導要領に基づき、小・中学校におけるALT（外国語指導助手）を活用した外国語授業の充実を推進します。
学校施設及び設備の整備事業	老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」に基づき学校施設及び設備について計画的に整備を進めます。
学校給食センター改築事業	老朽化の進んだ学校給食センターの改築事業を進め、今後も引き続き、安全・安心な学校給食の提供を行います。
スクールバス更新事業	児童・生徒の負担軽減につながる効率的な運行体制の整備に向け、計画的なスクールバスの更新を行います。
別海型コミュニティ・スクール推 進事業	地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の町内全8学校区への円滑な導入に向けた取組を推進します。
北海道別海高等学校への教育支 援事業	寄宿施設への助成をはじめ各種支援事業を推進し、地域特性を踏まえた魅力ある高校として選択できる環境を整え、普通科3学級の確保及び酪農経営科の増員につなげます。



3 青少年の健全育成

1 現状

近年、少子化や核家族化の進行、社会環境の変化により、青少年期の親子のふれあい不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域社会での人間関係の希薄化、異なる年齢間での交流の減少等が指摘されており、本町においても同様な状況にあります。

そのような環境の中、特にスマートフォンやインターネットなどメディアとの付き合い方をコントロールする授業については、例年、各小・中学校、高校を巡回し、児童・生徒だけではなく保護者に対しても実施しています。

また、体験・交流活動に関しては、子ども会事業や、公民館・郷土資料館・スポーツセンター事業等のほか、友好都市である枚方市の中学生と本町の中学生が相互に隔年で訪問を行う「少女ふれあいの翼事業」を継続しており、異なる文化、自然、産業を体験するとともに、互いの交流を図っています。

さらに、町内の小・中・高で組織している音楽団体が一堂に会す「別海町小中高校合同音楽祭」を開催するなど、児童・生徒の各種発表の機会の充実を図っています。

2 課題

道内各地ではインターネットを介した犯罪等に巻き込まれる事案が増加しているため、今後は、こうした事案の発生を予防するため啓発活動を行う必要があります。

特に、通信機器による情報の発信や入手はどこでも・誰でも可能となりましたが、安心安全に使用するための働きかけは今後の大きな課題となっています。

早寝・早起きなどの生活習慣に関しては、子どもたちの生きる力に関わる重要な課題であるという認識に立ち、今後も家庭・学校・地域が連携して粘り強く取り組んでいく必要があります。

青少年を対象としたスポーツ活動や体験等の教室・講座の実施にあたっては、単に種目や目的にとらわれず、町への郷土愛を育むために、地域の歴史や文化、自然等に触れる機会を設け、ふるさとを学ぶ機会の充実を図る必要があります。

3 施策の目的

青少年が本町の次代の担い手として、豊かな社会性を養い、健やかに成長できるよう、地域全体で見守り、育てる健全育成活動を積極的に推進し、郷土愛を育みます。

3 青少年の健全育成

1 現状

近年、少子化や核家族化の進行、社会環境の変化により、青少年期の親子のふれあい不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域社会での人間関係の希薄化、異なる年齢間での交流の減少等が指摘されており、本町においても同様な状況にあります。

そのような環境の中、特にスマートフォンやインターネットなどメディアとの付き合い方をコントロールする授業については、例年各小・中学校を巡回し、小・中学生だけでなく保護者に対しても実施しています。

また、体験・交流活動に関しては、子ども会事業や、公民館・郷土資料館・スポーツセンター事業等のほか、友好都市である枚方市の中学生と本町の中学生が隔年で相互訪問を行う「少女ふれあいの翼事業」を継続しており、異なる文化、自然、産業を体験するとともに、互いの交流を図っています。

さらに、町内の小・中・高で組織している音楽団体が一堂に会す「別海町小中高校合同音楽祭」を開催するなど、児童・生徒の各種発表の機会の充実を図っています。

2 課題

非行行動の問題は少ないものの、道内各地ではインターネットを介した犯罪等に巻き込まれる事案が増加しているため、今後は、こうした事案の発生を予防するため啓発活動を行う必要があります。

また、通信機器による情報の発信や入手はどこでも・誰でも可能となりましたが、コミュニティの形成や連帯意識の向上の機会は、極端に減少しており、特に青年期への働きかけは今後の大きな課題となっています。

早寝・早起きなどの生活習慣に関しては、大きな改善がみられないことから、子どもたちの生きる力に関わる重要な課題であるという認識に立ち、今後も家庭と学校が連携して粘り強く取り組んでいく必要があります。

青少年を対象としたスポーツ活動や体験等の教室・講座の実施にあたっては、単に種目や目的にとらわれず、町への郷土愛を育むために、地域の歴史や文化、自然等に触れる機会を設け、ふるさとを学ぶ機会の充実を図る必要があります。

3 施策の目的

青少年が本町の次代の担い手として、豊かな社会性を養い、健やかに成長できるよう、地域全体で見守り、育てる健全育成活動を積極的に推進し、郷土愛を育みます。

改定後		改定前		備考
4 主要施策		4 主要施策		
①まちぐるみでの青少年健全育成体制の確立と教育力の向上	スマートフォン等の適正な利用や、インターネットを介した犯罪の発生を未然に防止するための活動を展開します。また、生活習慣改善・メディアコントロール*においては、学校・家庭・地域との相互理解と協力が重要であり、町全体での取組を進めます。	①まちぐるみでの青少年健全育成体制の確立と教育力の向上	スマートフォン等の適正な利用や、インターネットを介した犯罪の発生を未然に防止するための活動を展開します。また、生活習慣改善・メディアコントロール*においては、学校・家庭・地域との相互理解と協力が重要であり、町全体での取組を進めます。	
②青少年の体験・交流事業等の促進	伝統文化を通じた異世代の交流や友好都市との交流事業、青少年を対象とした教室・講座の開催等により、青少年にさまざまな体験や交流、職業体験の機会をつくります。	②青少年の体験・交流事業等の促進	伝統文化を通じた異世代の交流や友好都市との交流事業、青少年を対象とした教室・講座の開催等により、青少年にさまざまな体験や交流、職業体験の機会をつくります。	
③青少年団体の育成	交流、研修の機会を提供することで、青少年のリーダー養成や指導者の育成・確保に努めます。	③青少年団体の育成	交流、研修の機会を提供することで、青少年のリーダー養成や指導者の育成・確保に努めます。	
④スポーツや文化活動を通じたふるさと学習への取組 総合戦略	スポーツ少年団活動や、 スポーツ協会 及び文化連盟の教室や講座、イベント等において、町の歴史、文化や自然に触れる機会を増やし郷土愛を育む取組を促進します。	④スポーツや文化活動を通じたふるさと学習への取組	スポーツ少年団活動や、 体育協会 及び文化連盟の教室や講座、イベント等において、町の歴史、文化や自然に触れる機会を増やし郷土愛を育む取組を促進します。	
5 重要業績評価指標（KPI）		5 重要業績評価指標（KPI）		
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 <u>(平成29年度)</u> (実績)	2023年度 <u>(令和5年度)</u> (中間実績)	2028年度 <u>(令和10年度)</u> (目標)
メディアコントロール授業の実施数	回	3	<u>3</u>	3
メディアコントロールWEEK時の小学校高学年の1日当たりのメディア利用平均時間	分	118	<u>145</u>	110
青少年対象の体育的事業数	回	6	<u>11</u>	9
青少年対象の歴史や文化、自然体験を組み入れた事業数	回	11	<u>11</u>	14
子ども会育成者数	人	199	<u>198</u>	200
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 <u>(中間目標)</u>	2028年度 (目標)
メディアコントロール授業の実施数	回	3	<u>3</u>	3
メディアコントロールWEEK時の小学校高学年の1日当たりのメディア利用平均時間	分	118	<u>110</u>	110
青少年対象の体育的事業数	回	6	<u>8</u>	9
青少年対象の歴史や文化、自然体験を組み入れた事業数	回	11	<u>13</u>	14
子ども会育成者数	人	199	<u>200</u>	200
6 主要な事業		6 主要な事業		
児童・生徒の生活習慣改善を啓発する事業	スローガン「早寝・早起き・朝ごはん・テレビを止めて外遊び」「スイッチOFF22」を主眼としたメディアコントロールの取組を推進します。	児童・生徒の生活習慣改善を啓発する事業	スローガン「早寝・早起き・朝ごはん・テレビを止めて外遊び」「スイッチOFF22」を主眼としたメディアコントロールの取組を推進します。	
中学校生徒による友好都市との交流事業	友好都市である枚方市の中学生と、本町の中学生との交流により、青少年の健全育成と将来のまちづくりに生かします。	中学校生徒による友好都市との交流事業	友好都市である枚方市の中学生と、本町の中学生との交流により、青少年の健全育成と将来のまちづくりに生かします。	
社会教育団体への支援と育成事業	団体への補助金等の交付だけではなく、町の歴史や文化、自然等にも触れる事業への展開により、郷土愛を育てます。	社会教育団体への支援と育成事業	団体への補助金等の交付だけではなく、町の歴史や文化、自然等にも触れる事業への展開により、郷土愛を育てます。	
体験学習事業	中央・西・東の3公民館にて、小学生を対象に学校や家庭で体験できない野外活動・社会活動・交流活動の拡大を図り、生きる力を育みます。	体験学習事業	中央・西・東の3公民館にて、小学生を対象に学校や家庭で体験できない野外活動・社会活動・交流活動の拡大を図り、生きる力を育みます。	
子どもまつり事業	地域の協力のもと、3公民館が「こどもの日」の時期に合わせて実施する、親子で参加できる各種催しを通し、地域との連帯感と青少年の健全育成に取り組みます。	子どもまつり事業	地域の協力のもと、3公民館が「こどもの日」の時期に合わせて実施する、親子で参加できる各種催しを通し、地域との連帯感と青少年の健全育成に取り組みます。	
郷土資料館サマースクール・ウィンタースクール事業	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の本町の未来を探求させる心を育てます。	郷土資料館サマースクール・ウィンタースクール事業	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の本町の未来を探求させる心を育てます。	

改定後	改定前	備考
<div data-bbox="1113 132 1344 241" style="text-align: right;">   </div> <h2 data-bbox="83 258 442 300">4 地域文化の振興</h2> <h3 data-bbox="83 331 237 373">1 現状</h3> <p data-bbox="83 401 1344 516">芸術・文化は、人生に楽しみと潤いをもたらし、地域の活気と魅力を引き出すことに大きな役割を果たしており、一人ひとりが心豊かに生きる社会を目指すためにも、更なる地域文化の振興を図ることが求められています。</p> <p data-bbox="83 525 1344 596">本町では、生涯学習環境の充実を目指し、<u>町民に対し生涯学習センターみなくる及び西・東公民館での学習機会等を提供しています</u></p> <p data-bbox="83 604 1344 760">文化財では、<u>指定文化財が国2件・道1件・町16件の計19件あり、埋蔵文化財包蔵地は88か所が確認されています。国の史跡である旧奥行臼駅通所と、2024年度（令和6年度）に国の天然記念物に格上げとなった西別湿原ヤチカンバ群落については、専門の検討委員会を設置し、今後の保護・活用策の検討を行っています。</u></p> <p data-bbox="83 768 1344 840">国の登録文化財制度に準じた「別海町歴史文化遺産」は、19件を認定しており、順次解説看板設置などの整備を進めています。</p> <p data-bbox="83 848 1344 919">指定・未指定の文化財を保存・公開する施設としては、郷土資料館、郷土資料館附属施設加賀家文書館、郷土資料館豊原分館があります。</p> <p data-bbox="83 928 1344 999">2024年度（令和6年度）には、<u>文化財保護法に基づく歴史文化の保存・活用に関する総合的な計画である別海町文化財保存活用地域計画を策定しています。</u></p> <p data-bbox="83 1008 1344 1123">各地区においては、文化協会や公民館運営審議委員、分館推進委員が中心となり特色のある文化祭を毎年開催するとともに、<u>文化講演会や芸術及び音楽鑑賞事業等</u>を開催するなど、町民の身近なところで芸術・文化に触れることができるよう事業を実施しています。</p> <p data-bbox="83 1131 1344 1203">また、町内で活動する芸術・文化団体を育成するため、指導助言を行っているほか、町民文化の普及振興に貢献された町民（団体）を表彰しています。</p> <h3 data-bbox="83 1283 237 1325">2 課題</h3> <p data-bbox="83 1352 1344 1467"><u>人口減少や少子高齢社会の進行、ライフスタイルの多様化など、地域のつながりが希薄化する中で、今後文化財をどのように守り、継承していくかが大きな課題です。また、町民の文化財に対する興味・関心は必ずしも高くないことから、積極的な情報発信が不可欠です。</u></p> <p data-bbox="83 1476 1344 1591"><u>奥行地区には史跡旧奥行臼駅通所を筆頭に交通遺跡が集中していることから、着実に整備を実施していく必要があります。国の天然記念物となった西別湿原ヤチカンバ群落は、まず個別の保存活用計画を策定した上で、保護方策を講じることが求められます。</u></p> <p data-bbox="83 1600 1344 1629"><u>郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処することが必要となります。</u></p> <p data-bbox="83 1638 1344 1753">文化祭に関しては、サークル数の減少や会員の高齢化、活動内容の固定化に伴い、新しいサークルの発掘や新たな種目を提示する講座の開催等が必要な状況となっています。また、現行団体に対して、継続的に活動が展開されるよう積極的に支援を行う必要があります。</p> <p data-bbox="83 1761 1344 1917">2022年（令和4年）に運用が開始された生涯学習センターみなくるを中心に、実施される芸術・文化の鑑賞にも大きな期待があることから、今まで以上に町民のニーズに即したイベント・講座等を実施することが課題となっています。また、芸術文化に触れる・学べる機会を増やすため、近隣市町や関係団体等と連携しながら、芸術文化の講演等の鑑賞支援を拡充する必要があります。</p>	<h2 data-bbox="1374 258 1733 300">4 地域文化の振興</h2> <h3 data-bbox="1374 331 1528 373">1 現状</h3> <p data-bbox="1374 401 2635 516">芸術・文化は、人生に楽しみと潤いをもたらし、地域の活気と魅力を引き出すことに大きな役割を果たしており、一人ひとりが心豊かに生きる社会を目指すためにも、更なる地域文化の振興を図ることが求められています。</p> <p data-bbox="1374 525 2635 640">本町では、生涯学習環境の充実を目指し、<u>2022年度から生涯学習センターの供用開始を予定しているほか、旧豊原小学校を郷土資料館の収蔵展示施設として整備し、2016年度（平成28年度）に開館しています。</u></p> <p data-bbox="1374 648 2635 804">文化財では、<u>旧奥行臼駅通所を国の史跡に、西別湿原ヤチカンバ群落地は道の天然記念物に指定されたため、専門の検討委員会を設置し、今後の保護・活用策の検討を行っています。崩壊のおそれのあった柏野尋常小学校奉安殿は、町指定文化財として修理工事を実施するとともに、シンポジウムを開催して町民の文化財への意識向上を図っています。</u></p> <p data-bbox="1374 1008 2635 1123">各地区においては、文化協会や公民館運営審議委員、分館推進委員が中心となり特色のある文化祭を毎年開催するとともに、<u>落語会や子育てに関わる講演会、ジャズを中心としたコンサート等</u>を開催するなど、町民の身近なところで芸術・文化に触れることができるよう事業を実施しています。</p> <p data-bbox="1374 1131 2635 1203">また、町内で活動する芸術・文化団体を育成するため、<u>別海町文化連盟に対して</u>指導助言を行っているほか、町民文化の普及振興に貢献された町民（団体）を表彰しています。</p> <h3 data-bbox="1374 1283 1528 1325">2 課題</h3> <p data-bbox="1374 1352 2635 1381"><u>郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処することが必要となります。</u></p> <p data-bbox="1374 1390 2635 1545"><u>文化財については、奥行地区には交通遺跡が集中していることから、これらの文化財を地域の活性化に活用する方策を検討して整備を進める必要があります。ヤチカンバは国の天然記念物指定を目指して調査を進め、保護方策を講じることが求められます。また、文化財保護法の改正に伴い、文化財保存・活用に関する総合的な計画である「文化財保存活用地域計画」を策定することが重要となります。</u></p> <p data-bbox="1374 1638 2635 1753">文化祭に関しては、サークル数の減少や会員の高齢化、活動内容の固定化に伴い、新しいサークルの発掘や新たな種目を提示する講座の開催等が必要な状況となっています。また、現行団体に対して、継続的に活動が展開されるよう積極的に支援を行う必要があります。</p> <p data-bbox="1374 1761 2635 1917"><u>生涯学習センターの建設・運用を控え、今後実施される芸術・文化の鑑賞にも大きな期待があることから、今まで以上に町民のニーズに即したイベント・講座等を実施することが課題となっています。また、芸術文化に触れる・学べる機会を増やすため、近隣市町や関係団体等と連携しながら、芸術文化の講演等の鑑賞支援を拡充する必要があります。</u></p>	

改定後	改定前	備考																																																																														
<p>3 施策の目的</p> <p>地域に根ざした文化の継承と個性あふれる文化の創造に向け、町民主体の芸術・文化活動を一層推進するとともに、<u>貴重な文化財の保存・活用を進めることで、町民が多種多様な文化財に親しみをもち、町の魅力を再認識し、誇りを持って住み続けられる町を目指します。</u></p> <p>4 主要施策</p> <table border="1" data-bbox="142 510 1341 1098"> <tr> <td>①芸術・文化施設の整備充実</td> <td><u>西・東公民館の老朽化に伴う整備を進めます。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。</u></td> </tr> <tr> <td>②文化財保存公開施設の整備充実</td> <td><u>郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。地域活性化に資する施設を目指します。</u></td> </tr> <tr> <td>③文化遺産の保存と活用</td> <td><u>奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、整備を進めます。西別湿原ヤチカンバ群落については、保存活用計画の策定に向けて調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を公開し、必要な整備を行います。</u></td> </tr> <tr> <td>④芸術・文化団体、指導者の育成</td> <td><u>町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を目的とした指導・助言等を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。</u></td> </tr> <tr> <td>⑤芸術文化イベント等の充実</td> <td>各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、<u>文化講演会</u>やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。</td> </tr> </table> <p>5 重要業績評価指標（KPI）</p> <table border="1" data-bbox="142 1234 1341 1566"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標（KPI）</th> <th>単位</th> <th>2017年度 (平成29年度) (実績)</th> <th>2023年度 (令和5年度) (中間実績)</th> <th>2028年度 (令和10年度) (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財施設の入場者数</td> <td>人</td> <td>1,492 (2013年度)</td> <td><u>2,413</u></td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>文化祭の参加者数</td> <td>人</td> <td>12,341</td> <td><u>7,559</u></td> <td><u>10,150</u></td> </tr> <tr> <td>芸術文化講座開催数</td> <td>講座</td> <td>5</td> <td><u>14</u></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>郷土資料館入館者満足度</td> <td>%</td> <td>83</td> <td><u>82</u></td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>郷土資料館関係事業満足度</td> <td>%</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	①芸術・文化施設の整備充実	<u>西・東公民館の老朽化に伴う整備を進めます。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。</u>	②文化財保存公開施設の整備充実	<u>郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。地域活性化に資する施設を目指します。</u>	③文化遺産の保存と活用	<u>奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、整備を進めます。西別湿原ヤチカンバ群落については、保存活用計画の策定に向けて調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を公開し、必要な整備を行います。</u>	④芸術・文化団体、指導者の育成	<u>町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を目的とした指導・助言等を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。</u>	⑤芸術文化イベント等の充実	各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、 <u>文化講演会</u> やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。	重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)	文化財施設の入場者数	人	1,492 (2013年度)	<u>2,413</u>	3,000	文化祭の参加者数	人	12,341	<u>7,559</u>	<u>10,150</u>	芸術文化講座開催数	講座	5	<u>14</u>	8	郷土資料館入館者満足度	%	83	<u>82</u>	90	郷土資料館関係事業満足度	%	95	95	95	<p>3 施策の目的</p> <p>地域に根ざした文化の継承と個性あふれる文化の創造に向け、町民主体の芸術・文化活動を一層推進するとともに、<u>貴重な文化財に対する理解を深め、保存・活用を進めます。</u></p> <p>4 主要施策</p> <table border="1" data-bbox="1427 510 2626 1056"> <tr> <td>①芸術・文化施設の整備充実</td> <td><u>生涯学習センターの建設を進め、その運用方法について検討します。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。</u></td> </tr> <tr> <td>②文化財の保存と活用</td> <td><u>奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、史跡公園構想を具体化して整備計画を策定し、整備を進めます。ヤチカンバ群落地については、国の天然記念物指定を目指して調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を調査し、「文化財保存活用地域計画」を策定します。</u></td> </tr> <tr> <td>③芸術・文化団体、指導者の育成</td> <td><u>別海町文化連盟に対する指導・助言等により、町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。</u></td> </tr> <tr> <td>④芸術文化イベント等の充実</td> <td>各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、<u>落語会、講演会</u>やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。</td> </tr> </table> <p>5 重要業績評価指標（KPI）</p> <table border="1" data-bbox="1427 1234 2626 1566"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標（KPI）</th> <th>単位</th> <th>2017年度 (実績)</th> <th>2023年度 (中間目標)</th> <th>2028年度 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財施設の入場者数</td> <td>人</td> <td>1,492 (2013年度)</td> <td><u>2,000</u></td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>文化祭の参加者数</td> <td>人</td> <td>12,341</td> <td><u>14,000</u></td> <td><u>15,000</u></td> </tr> <tr> <td>芸術文化講座開催数</td> <td>講座</td> <td>5</td> <td><u>7</u></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>郷土資料館入館者満足度</td> <td>%</td> <td>83</td> <td><u>85</u></td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>郷土資料館関係事業満足度</td> <td>%</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	①芸術・文化施設の整備充実	<u>生涯学習センターの建設を進め、その運用方法について検討します。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。</u>	②文化財の保存と活用	<u>奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、史跡公園構想を具体化して整備計画を策定し、整備を進めます。ヤチカンバ群落地については、国の天然記念物指定を目指して調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を調査し、「文化財保存活用地域計画」を策定します。</u>	③芸術・文化団体、指導者の育成	<u>別海町文化連盟に対する指導・助言等により、町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。</u>	④芸術文化イベント等の充実	各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、 <u>落語会、講演会</u> やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。	重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)	文化財施設の入場者数	人	1,492 (2013年度)	<u>2,000</u>	3,000	文化祭の参加者数	人	12,341	<u>14,000</u>	<u>15,000</u>	芸術文化講座開催数	講座	5	<u>7</u>	8	郷土資料館入館者満足度	%	83	<u>85</u>	90	郷土資料館関係事業満足度	%	95	95	95	
①芸術・文化施設の整備充実	<u>西・東公民館の老朽化に伴う整備を進めます。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。</u>																																																																															
②文化財保存公開施設の整備充実	<u>郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。地域活性化に資する施設を目指します。</u>																																																																															
③文化遺産の保存と活用	<u>奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、整備を進めます。西別湿原ヤチカンバ群落については、保存活用計画の策定に向けて調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を公開し、必要な整備を行います。</u>																																																																															
④芸術・文化団体、指導者の育成	<u>町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を目的とした指導・助言等を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。</u>																																																																															
⑤芸術文化イベント等の充実	各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、 <u>文化講演会</u> やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。																																																																															
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)																																																																												
文化財施設の入場者数	人	1,492 (2013年度)	<u>2,413</u>	3,000																																																																												
文化祭の参加者数	人	12,341	<u>7,559</u>	<u>10,150</u>																																																																												
芸術文化講座開催数	講座	5	<u>14</u>	8																																																																												
郷土資料館入館者満足度	%	83	<u>82</u>	90																																																																												
郷土資料館関係事業満足度	%	95	95	95																																																																												
①芸術・文化施設の整備充実	<u>生涯学習センターの建設を進め、その運用方法について検討します。郷土資料館は、本館及び豊原分館の整備方針を検討し、老朽化に対処します。</u>																																																																															
②文化財の保存と活用	<u>奥行地区の交通遺跡を地域の活性化に活用するため、史跡公園構想を具体化して整備計画を策定し、整備を進めます。ヤチカンバ群落地については、国の天然記念物指定を目指して調査を進め、保護対策を講じます。また、町内各地の文化財を調査し、「文化財保存活用地域計画」を策定します。</u>																																																																															
③芸術・文化団体、指導者の育成	<u>別海町文化連盟に対する指導・助言等により、町内で活動する芸術・文化団体の育成と支援を行うとともに、町民文化の普及振興に貢献した方の表彰を行います。</u>																																																																															
④芸術文化イベント等の充実	各団体等と連携し、地区ごとや町全体の文化祭を開催するほか、 <u>落語会、講演会</u> やコンサートの開催など、身近で芸術・文化に触れる機会を拡充します。また、近隣市町で開催される芸術文化講演等の鑑賞支援を行います。																																																																															
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)																																																																												
文化財施設の入場者数	人	1,492 (2013年度)	<u>2,000</u>	3,000																																																																												
文化祭の参加者数	人	12,341	<u>14,000</u>	<u>15,000</u>																																																																												
芸術文化講座開催数	講座	5	<u>7</u>	8																																																																												
郷土資料館入館者満足度	%	83	<u>85</u>	90																																																																												
郷土資料館関係事業満足度	%	95	95	95																																																																												

改定後		改定前		備考
6 主要な事業		6 主要な事業		
総合文化祭・地域文化祭事業	地域間や異世代間の交流や特色ある芸術文化活動を通じて、町民が一体となったまちづくりのため、文化祭を開催します。	総合文化祭・地域文化祭事業	地域間や異世代間の交流や特色ある芸術文化活動を通じて、町民が一体となったまちづくりのため、文化祭を開催します。	
芸術文化鑑賞事業	町民が芸術文化への関心と理解を深めるために、その機会を提供する芸術文化鑑賞を拡充します。	芸術文化鑑賞事業	町民が芸術文化への関心と理解を深めるために、その機会を提供する芸術文化鑑賞を拡充します。	
文化団体活動支援事業	文化団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。	文化団体活動支援事業	文化団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。	
郷土資料館整備方針の策定事業	老朽化の進んでいる、郷土資料館本館及び豊原分館の施設整備方針を検討し、計画的な整備を進めます。	郷土資料館整備方針の策定事業	老朽化の進んでいる、郷土資料館本館及び豊原分館の施設整備方針を検討し、計画的な整備を進めます。	
郷土資料館が実施する各種事業	講座・講演会等を開催し、郷土の歴史・文化に触れる機会を拡充します。	郷土資料館が実施する各種事業	講座・講演会等を開催し、郷土の歴史・文化に触れる機会を拡充します。	
奥行臼史跡公園整備事業	<u>奥行地区に集中する3つの交通遺産を核とした整備を進め、交流人口の拡大を推進します。</u>	奥行臼史跡公園整備事業	<u>奥行地区に集中する3つの交通遺産を核とした史跡公園整備計画を策定し、計画に基づく整備を進め、交流人口の拡大を推進します。</u>	
<u>天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落保存整備事業</u>	<u>保存活用計画策定に向けて調査を進めるとともに、策定後は保護対策を講じて恒久的な保存に取り組みます。</u>	<u>西別湿原ヤチカンバ群落地保護事業</u>	<u>国の天然記念物への指定に向けて調査を進めるとともに、指定後は保護対策を講じて恒久的な保存に取り組みます。</u>	

改定後	改定前	備考
<div data-bbox="1113 132 1344 241" style="text-align: right;">   </div> <h2 data-bbox="83 258 442 300">5 スポーツの振興</h2> <h3 data-bbox="83 331 240 373">1 現状</h3> <p data-bbox="92 401 1344 558">スポーツは、健康増進や体力向上だけでなく、楽しく活動することにより、気分転換や仲間づくりにもつながり、明るく豊かで活力に満ちた地域社会をつくる上で、大きな役割を担っています。そのため、競技性だけを求めるのではなく、町民の健康づくりや体力づくりの面からもスポーツの振興に取り組んでいます。</p> <p data-bbox="92 567 1344 680">本町では、スポーツ施設の中核を担う町民体育館の大規模改修をはじめ、老朽化の進むスポーツ施設の計画的な修繕を実施し、スポーツ施設機能の充実と利用の促進を図っていますが、人口の減少に伴い、施設全体の利用者数は減少傾向にあります。</p> <p data-bbox="92 688 1344 886">2014年度（平成26年度）には総合スポーツセンター施設に「指定管理者制度」を導入したことにより、施設の管理だけでなく、町民のニーズに対応したスポーツ教室の開催、施設開放時間の延長によるサービス向上を図っています。また、著名なスポーツ選手を招き、競技力向上セミナー等を開催して、アスリートの養成を目指すほか、健康管理や栄養管理の必要性について学ぶ機会を設け、町民の意識の醸成を図っています。</p> <p data-bbox="92 894 1344 1008">また、道内最古の歴史を誇り、道東地区唯一の公認フルマラソンコースで実施する「別海町パイロットマラソン」やスポーツ合宿の受入は、スポーツの振興のみならず、本町のPR効果や宿泊業・小売業への経済効果をもたらしています。</p> <h3 data-bbox="83 1087 240 1129">2 課題</h3> <p data-bbox="92 1157 1344 1270">スポーツ施設数が多いため、改修計画を定め、順次改修等を実施することが求められています。また、人口減少や少子化、高齢化によるスポーツ人口の減少が進む中、競技者や指導者の確保と育成が大きな課題となっています。</p> <p data-bbox="92 1278 1344 1436"><u>利用者数については、一部の施設を除き減少傾向にあることから、</u>今後は各施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、ニーズの収集や情報提供を図る必要があります。また、申込数が少ない事業や年々申込数が減少傾向にある事業もあることから、事業内容について見直しを行うとともに、広報・啓発活動を強化し、スポーツ人口の底上げを図る必要があります。</p> <p data-bbox="92 1444 1344 1558">スポーツ少年団や、<u>スポーツ協会</u>の会員数は少子化や高齢化により、年々減少し始めており、活動に支障を来している団体も増えていることから、指導者の育成や支援とともに、町民へのスポーツの生み出す効果や魅力を発信することが今後の課題となっています。</p> <p data-bbox="92 1608 1344 1766"><u>パイロットマラソンの参加者数は、全国的なマラソンブームが落ち着き、近年は横ばい傾向でしたが、コロナ禍による中止を経て3年ぶりに開催された2022年度（令和4年度）大会、及び2023年度（令和5年度）大会においては、全国各地で開催されている他の多くのマラソン大会同様、コロナ禍前の水準には届いていない状況にあります。</u></p> <p data-bbox="92 1774 1344 1843"><u>このため、現在の参加範囲から新たに小学校低学年等が参加できる種目を設定するなど、参加者の確保に向けた取組を行う必要があります。</u></p>	<h2 data-bbox="1374 258 1733 300">5 スポーツの振興</h2> <h3 data-bbox="1374 331 1531 373">1 現状</h3> <p data-bbox="1383 401 2635 558">スポーツは、健康増進や体力向上だけでなく、楽しく活動することにより、気分転換や仲間づくりにもつながり、明るく豊かで活力に満ちた地域社会をつくる上で、大きな役割を担っています。そのため、競技性だけを求めるのではなく、町民の健康づくりや体力づくりの面からもスポーツの振興に取り組んでいます。</p> <p data-bbox="1383 567 2635 680">本町では、スポーツ施設の中核を担う町民体育館の大規模改修をはじめ、老朽化の進むスポーツ施設の計画的な修繕を実施し、スポーツ施設機能の充実と利用の促進を図っていますが、人口の減少に伴い、施設全体の利用者数は減少傾向にあります。</p> <p data-bbox="1383 688 2635 886">2014年度（平成26年度）には町民体育館に「指定管理者制度」を導入したことにより、施設の管理だけでなく、町民のニーズに対応したスポーツ教室の開催、施設開放時間の延長によるサービス向上を図っています。また、著名なスポーツ選手を招き、競技力向上セミナー等を開催して、アスリートの養成を目指すほか、健康管理や栄養管理の必要性について学ぶ機会を設け、町民の意識の醸成を図っています。</p> <p data-bbox="1383 894 2635 1008">また、道内最古の歴史を誇り、道東地区唯一の公認フルマラソンコースで実施する「別海町パイロットマラソン」やスポーツ合宿の受入は、スポーツの振興のみならず、本町のPR効果や宿泊業・小売業への経済効果をもたらしています。</p> <h3 data-bbox="1374 1087 1531 1129">2 課題</h3> <p data-bbox="1383 1157 2635 1270">スポーツ施設数が多いため、改修計画を定め、順次改修等を実施することが求められています。また、人口減少や少子化、高齢化によるスポーツ人口の減少が進む中、競技者や指導者の確保と育成が大きな課題となっています。</p> <p data-bbox="1383 1278 2635 1476"><u>町民体育館、温水プールなどの屋内施設の利用者数は増加傾向にあるものの、屋外施設においては減少傾向にあることから、</u>今後は屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、ニーズの収集や情報提供を図る必要があります。また、申込数が少ない事業や年々申込数が減少傾向にある事業もあることから、事業内容について見直しを行うとともに、広報・啓発活動を強化し、スポーツ人口の底上げを図る必要があります。</p> <p data-bbox="1383 1484 2635 1598">スポーツ少年団や、<u>体育協会</u>の会員数は少子化や高齢化により、年々減少し始めており、活動に支障を来している団体も増えていることから、指導者の育成や支援とともに、町民へのスポーツの生み出す効果や魅力を発信することが今後の課題となっています。</p> <p data-bbox="1383 1606 2635 1722"><u>パイロットマラソンの参加者数は、全国のマラソンブームが落ち着き、横ばい状況にあります。そこで、町のPRを兼ねたまちぐるみのおもてなしによって、一層ランナーに喜んでもらえる、ランナーの気持ちに立った「あったかいマラソン」を目指し、参加者の確保を図る必要があります。</u></p> <p data-bbox="1383 1772 2635 1929"><u>また、減少が続く宿泊施設の確保は、パイロットマラソンだけでなく、スポーツ合宿の誘致においても大きな課題であり、別海町スポーツ合宿受入協議会や別海町観光協会等と連携して、宿泊先の確保やその方法について検討するほか、観光と組み合わせたスポーツ大会や合宿誘致も考える必要があります。</u></p>	

改定後		改定前		備考																																																																						
<p>3 施策の目的</p> <p>全ての町民がそれぞれの体力や年齢に応じてスポーツを楽しみ、健康づくりとスポーツ交流による活力ある地域づくりにつなげられるよう、活動の場と機会の充実に取り組みます。</p>		<p>3 施策の目的</p> <p>全ての町民がそれぞれの体力や年齢に応じてスポーツを楽しみ、健康づくりとスポーツ交流による活力ある地域づくりにつなげられるよう、活動の場と機会の充実に取り組みます。</p>																																																																								
<p>4 主要施策</p> <table border="1"> <tr> <td>①スポーツ施設の整備充実・有効活用 総合戦略</td> <td>特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。</td> </tr> <tr> <td>②多様なスポーツ活動の普及促進 総合戦略</td> <td>屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ団体、指導者の育成と強化</td> <td><u>スポーツ協会</u>やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。</td> </tr> <tr> <td>④スポーツイベントの充実</td> <td>スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。</td> </tr> <tr> <td>⑤スポーツによるまちづくり・交流活動の促進 総合戦略</td> <td>スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。</td> </tr> <tr> <td>⑥スポーツを通じたふるさと学習と郷土愛の育成</td> <td>競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。</td> </tr> </table>		①スポーツ施設の整備充実・有効活用 総合戦略	特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。	②多様なスポーツ活動の普及促進 総合戦略	屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。	③スポーツ団体、指導者の育成と強化	<u>スポーツ協会</u> やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。	④スポーツイベントの充実	スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。	⑤スポーツによるまちづくり・交流活動の促進 総合戦略	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。	⑥スポーツを通じたふるさと学習と郷土愛の育成	競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。	<p>4 主要施策</p> <table border="1"> <tr> <td>①スポーツ施設の整備充実・有効活用</td> <td>特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。</td> </tr> <tr> <td>②多様なスポーツ活動の普及促進</td> <td>屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ団体、指導者の育成と強化</td> <td><u>体育協会</u>やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。</td> </tr> <tr> <td>④スポーツイベントの充実</td> <td>スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。</td> </tr> <tr> <td>⑤スポーツによるまちづくり・交流活動の促進</td> <td>スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を<u>強力に</u>推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。</td> </tr> <tr> <td>⑥スポーツを通じたふるさと学習と郷土愛の育成</td> <td>競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。</td> </tr> </table>		①スポーツ施設の整備充実・有効活用	特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。	②多様なスポーツ活動の普及促進	屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。	③スポーツ団体、指導者の育成と強化	<u>体育協会</u> やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。	④スポーツイベントの充実	スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。	⑤スポーツによるまちづくり・交流活動の促進	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を <u>強力に</u> 推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。	⑥スポーツを通じたふるさと学習と郷土愛の育成	競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。																																															
①スポーツ施設の整備充実・有効活用 総合戦略	特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。																																																																									
②多様なスポーツ活動の普及促進 総合戦略	屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。																																																																									
③スポーツ団体、指導者の育成と強化	<u>スポーツ協会</u> やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。																																																																									
④スポーツイベントの充実	スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。																																																																									
⑤スポーツによるまちづくり・交流活動の促進 総合戦略	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。																																																																									
⑥スポーツを通じたふるさと学習と郷土愛の育成	競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。																																																																									
①スポーツ施設の整備充実・有効活用	特に大きな設備を伴う町民温水プールをはじめ、老朽化が進んでいる施設の改修計画を策定し、順次計画的な改修等を行い、利用の促進と拡大を進めます。																																																																									
②多様なスポーツ活動の普及促進	屋外施設を利用した健康づくりプログラムを実施するため、町民のニーズの収集や情報提供を行います。また、手軽にできる軽スポーツやニュースポーツの普及と紹介を随時実施し、スポーツ人口増加に向けた取組を推進します。																																																																									
③スポーツ団体、指導者の育成と強化	<u>体育協会</u> やスポーツ少年団等の各種スポーツ団体が交流できる機会の充実に図り、競技の枠を超えた理論の共有と各団体の活発化を促します。また、競技力向上セミナー等を開催し、競技者と指導者の意識を向上します。																																																																									
④スポーツイベントの充実	スポーツセンター指定管理者と連携し、町民のニーズに合わせたスポーツ教室等を開催するとともに、広く情報提供ができるように広報・啓発活動を強化し、参加を促進します。																																																																									
⑤スポーツによるまちづくり・交流活動の促進	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を <u>強力に</u> 推進するとともに、宿泊施設の確保やその方法についても検討します。また、「別海町パイロットマラソン」を通じて、全国へ本町のPRを行い、スポーツによるまちづくりを促進します。																																																																									
⑥スポーツを通じたふるさと学習と郷土愛の育成	競技の技術向上だけに固執することなく、スポーツを通して地域の歴史や文化、自然に触れる機会を創出するとともに、積極的にボランティア活動への参加も促進します。また、各取組を通じて、ふるさとを知ってもらい、郷土愛を育みます。																																																																									
<p>5 重要業績評価指標（KPI）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標（KPI）</th> <th>単位</th> <th>2017年度 (平成29年度) (実績)</th> <th>2023年度 (令和5年度) (中間実績)</th> <th>2028年度 (令和10年度) (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ施設の利用者数</td> <td>人</td> <td>160,902</td> <td><u>125,836</u></td> <td>161,000</td> </tr> <tr> <td>パイロットマラソン参加者数</td> <td>人</td> <td>1,522</td> <td><u>1,069</u></td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>健康づくり事業への参加者数</td> <td>人</td> <td>877</td> <td><u>808</u></td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>指定管理者の主催事業数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td><u>7</u></td> <td><u>7</u></td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団の指導者数</td> <td>人</td> <td>176</td> <td><u>110</u></td> <td>170</td> </tr> <tr> <td><u>スポーツ協会</u>の会員数</td> <td>人</td> <td>1,011</td> <td><u>688</u></td> <td><u>680</u></td> </tr> </tbody> </table>		重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)	スポーツ施設の利用者数	人	160,902	<u>125,836</u>	161,000	パイロットマラソン参加者数	人	1,522	<u>1,069</u>	1,600	健康づくり事業への参加者数	人	877	<u>808</u>	900	指定管理者の主催事業数	回	1	<u>7</u>	<u>7</u>	スポーツ少年団の指導者数	人	176	<u>110</u>	170	<u>スポーツ協会</u> の会員数	人	1,011	<u>688</u>	<u>680</u>	<p>5 重要業績評価指標（KPI）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標（KPI）</th> <th>単位</th> <th>2017年度 (実績)</th> <th>2023年度 (中間目標)</th> <th>2028年度 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ施設の利用者数</td> <td>人</td> <td>160,902</td> <td><u>161,000</u></td> <td>161,000</td> </tr> <tr> <td>パイロットマラソン参加者数</td> <td>人</td> <td>1,522</td> <td><u>1,600</u></td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>健康づくり事業への参加者数</td> <td>人</td> <td>877</td> <td><u>900</u></td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>指定管理者の主催事業数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td><u>5</u></td> <td><u>6</u></td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団の指導者数</td> <td>人</td> <td>176</td> <td><u>170</u></td> <td>170</td> </tr> <tr> <td><u>体育協会</u>の会員数</td> <td>人</td> <td>1,011</td> <td><u>970</u></td> <td><u>970</u></td> </tr> </tbody> </table>		重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)	スポーツ施設の利用者数	人	160,902	<u>161,000</u>	161,000	パイロットマラソン参加者数	人	1,522	<u>1,600</u>	1,600	健康づくり事業への参加者数	人	877	<u>900</u>	900	指定管理者の主催事業数	回	1	<u>5</u>	<u>6</u>	スポーツ少年団の指導者数	人	176	<u>170</u>	170	<u>体育協会</u> の会員数	人	1,011	<u>970</u>	<u>970</u>	
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)																																																																						
スポーツ施設の利用者数	人	160,902	<u>125,836</u>	161,000																																																																						
パイロットマラソン参加者数	人	1,522	<u>1,069</u>	1,600																																																																						
健康づくり事業への参加者数	人	877	<u>808</u>	900																																																																						
指定管理者の主催事業数	回	1	<u>7</u>	<u>7</u>																																																																						
スポーツ少年団の指導者数	人	176	<u>110</u>	170																																																																						
<u>スポーツ協会</u> の会員数	人	1,011	<u>688</u>	<u>680</u>																																																																						
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)																																																																						
スポーツ施設の利用者数	人	160,902	<u>161,000</u>	161,000																																																																						
パイロットマラソン参加者数	人	1,522	<u>1,600</u>	1,600																																																																						
健康づくり事業への参加者数	人	877	<u>900</u>	900																																																																						
指定管理者の主催事業数	回	1	<u>5</u>	<u>6</u>																																																																						
スポーツ少年団の指導者数	人	176	<u>170</u>	170																																																																						
<u>体育協会</u> の会員数	人	1,011	<u>970</u>	<u>970</u>																																																																						

改定後	改定前	備考																				
<p>6 主要な事業</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="142 254 566 359">屋外スポーツセンター施設の改修事業</td> <td data-bbox="566 254 1341 359">町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 359 566 432">スポーツ団体活動支援事業</td> <td data-bbox="566 359 1341 432">スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 432 566 537">パイロットマラソン開催事業</td> <td data-bbox="566 432 1341 537">マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 537 566 642">子どもの体力向上事業</td> <td data-bbox="566 537 1341 642">スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 642 566 716">コンビニスポーツ教室の普及</td> <td data-bbox="566 642 1341 716">「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。</td> </tr> </table>	屋外スポーツセンター施設の改修事業	町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。	スポーツ団体活動支援事業	スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。	パイロットマラソン開催事業	マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。	子どもの体力向上事業	スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。	コンビニスポーツ教室の普及	「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。	<p>6 主要な事業</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1427 254 1852 359">屋外スポーツセンター施設の改修事業</td> <td data-bbox="1852 254 2632 359">町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 359 1852 432">スポーツ団体活動支援事業</td> <td data-bbox="1852 359 2632 432">スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 432 1852 537">パイロットマラソン開催事業</td> <td data-bbox="1852 432 2632 537">マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 537 1852 642">子どもの体力向上事業</td> <td data-bbox="1852 537 2632 642">スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1427 642 1852 716">コンビニスポーツ教室の普及</td> <td data-bbox="1852 642 2632 716">「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。</td> </tr> </table>	屋外スポーツセンター施設の改修事業	町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。	スポーツ団体活動支援事業	スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。	パイロットマラソン開催事業	マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。	子どもの体力向上事業	スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。	コンビニスポーツ教室の普及	「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。	
屋外スポーツセンター施設の改修事業	町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。																					
スポーツ団体活動支援事業	スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。																					
パイロットマラソン開催事業	マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。																					
子どもの体力向上事業	スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。																					
コンビニスポーツ教室の普及	「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。																					
屋外スポーツセンター施設の改修事業	町営スケートリンクや野球場、パークゴルフ場等の老朽化等の状況を把握し、中長期的な視点で改修や修繕を計画的に進めます。																					
スポーツ団体活動支援事業	スポーツ団体の運営を支援し、各種大会に出場する団体に対して派遣費を助成します。																					
パイロットマラソン開催事業	マラソンを通して全国に町のPRを行うとともに、全国のランナーとの交流から、まちづくりにつなげられる大会運営を進めます。																					
子どもの体力向上事業	スポーツセンター指定管理者と連携し、スポーツセンター祭りやチャレンジスクール等の開催により、スポーツをする子・しない子の二極化を解消します。																					
コンビニスポーツ教室の普及	「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」という生涯学習の観点に立ち、身近なスポーツ教室を普及します。																					

改定後	改定前	備考
<div data-bbox="1234 132 1344 239" style="text-align: right;"> </div> <h2 data-bbox="83 258 480 300">6 交流時代への対応</h2> <h3 data-bbox="83 331 237 373">1 現状</h3> <p data-bbox="92 401 1344 596"> 少子超高齢社会、経済のグローバル化、交通ネットワークや情報・通信分野等の進展により、多くの地方自治体でも地域の活性化や人材育成、さらには多様な視点を持ったまちづくりを進めることを目的に、国内外での交流が活発に行われています。そのため、近隣自治体及び道内市町村との連携のみならず、人的・経済的交流を活発化させることで人材育成、地域政策及び産業振興につなげる交流がますます重要な取組となっています。 </p> <p data-bbox="92 604 1344 926"> 本町は、大阪府枚方市から本町酪農家へ嫁いだ方の働きかけが契機となり、1987年（昭和62年）に枚方市と友好都市宣言を行っています。枚方市をはじめ近郊都市からは、本町の酪農の後継者不足問題を解決するため「菊と緑の会」を通じて、パートナーを迎え入れているほか、物産展の交流、ふれあいの翼事業による児童・生徒の交流、スポーツ交流を活発に展開しています。また、1994年（平成6年）には、枚方市と友好都市提携している沖縄県名護市、高知県四万十市と共に、友好都市サミット協議会を設立しました。<u>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、交流活動が一時的に停滞する時期もありましたが、情報化の進展に伴い、WEB会議など、デジタル技術を活用した新しい形の交流を進めています。</u> </p> <p data-bbox="92 934 1344 1052"> <u>また、スポーツ合宿受入協議会による実業団や大学などのスポーツチームの受入やインカレねむる事業推進協議会による大学ゼミ合宿受入など、合宿誘致活動の推進により、町のPRや地域経済の振興、交流人口及び関係人口の増加に取り組んでいます。</u> </p> <h3 data-bbox="83 1255 237 1297">2 課題</h3> <p data-bbox="92 1325 1344 1478"> 枚方市とは、長い交流の歴史を経て、人材育成、担い手対策、物産事業など幅広い交流活動を展開してきました。同様に、名護市、四万十市との交流を活性化させることで、自治体経営の新たな気づきや多様な視点を持った人材育成、経済活動のきっかけとなる物産交流など、新たな取組の創出が求められています。 </p> <p data-bbox="92 1486 1344 1604"> スポーツ合宿の受入に関しては、<u>今後も力を入れる必要がある一方で、合宿実施時期と観光シーズンが重なるため、宿泊施設の確保や宿泊方法の検討が必要になるとともに、町民に対して合宿の情報を発信し、活動への理解を深め、受入環境整備の協力が得られるような取組が必要です。</u> </p>	<h2 data-bbox="1365 258 1762 300">6 交流時代への対応</h2> <h3 data-bbox="1365 331 1519 373">1 現状</h3> <p data-bbox="1374 401 2626 596"> 少子超高齢社会、経済のグローバル化、交通ネットワークや情報・通信分野等の進展により、多くの地方自治体でも地域の活性化や人材育成、さらには多様な視点を持ったまちづくりを進めることを目的に、国内外での交流が活発に行われています。そのため、近隣自治体及び道内市町村との連携のみならず、人的・経済的交流を活発化させることで人材育成、地域政策及び産業振興につなげる交流がますます重要な取組となっています。 </p> <p data-bbox="1374 604 2626 842"> 本町は、大阪府枚方市から本町酪農家へ嫁いだ方の働きかけが契機となり、1987年（昭和62年）に枚方市と友好都市宣言を行っています。枚方市をはじめ近郊都市からは、本町の酪農の後継者不足問題を解決するため「菊と緑の会」を通じて、パートナーを迎え入れているほか、物産展の交流、ふれあいの翼事業による児童・生徒の交流、スポーツ交流を活発に展開しています。また、1994年（平成6年）には、枚方市と友好都市提携している沖縄県名護市、高知県四万十市と共に、友好都市サミット協議会を設立しました。 </p> <p data-bbox="1374 934 2626 1171"> さらに、スポーツ合宿受入協議会による実業団や大学などのスポーツチームの受入やインカレねむる事業推進協議会による大学ゼミ合宿受入など、合宿誘致活動の推進により、町のPRや地域経済の振興、交流人口及び関係人口の増加に取り組んでいるほか、<u>2008年（平成20年）に創設した「別海町ふるさと応援制度」の寄附金の受入体制を拡充するなど、ふるさと納税を契機とした関わりを大切にする</u><u>ことで、交流人口の増加に向けて取り組むとともに、移住促進を図るため、関係団体と連携しながら都市部等への移住プロモーション活動を展開しています。</u> </p> <h3 data-bbox="1365 1245 1519 1287">2 課題</h3> <p data-bbox="1374 1314 2626 1470"> 枚方市とは、長い交流の歴史を経て、人材育成、担い手対策、物産事業など幅広い交流活動を展開してきました。同様に、名護市、四万十市との交流を活性化させることで、自治体経営の新たな気づきや多様な視点を持った人材育成、経済活動のきっかけとなる物産交流など、新たな取組の創出が求められています。 </p> <p data-bbox="1374 1478 2626 1549"> <u>大学ゼミ合宿については、そのときの経済効果だけでなく、研究内容を振興策として活用できるような連携体制を構築する必要があります。</u> </p> <p data-bbox="1374 1558 2626 1675"> スポーツ合宿の受入に関しては、<u>今後も力を入れる必要がある一方で、合宿実施時期と観光シーズンが重なるため、宿泊施設の確保や宿泊方法の検討が必要になるとともに、町民に対して合宿の情報を発信し、活動への理解を深め、受入環境整備の協力が得られるような取組が必要となっています。</u> </p> <p data-bbox="1374 1684 2626 1755"> <u>また、ふるさと納税を契機とした交流人口をより効果的に増加させるためには、寄附者との交流会を開催するなど、地域と継続的なつながりを持つ機会を提供することが重要となっています。</u> </p> <p data-bbox="1374 1764 2626 1835"> <u>移住の促進については、移住プロモーション活動を継続するとともに、空き家等を活用した移住体験施設を整備することが求められています。</u> </p>	<p data-bbox="2656 1024 2917 1142"> ○ふるさと納税、移住定住の取組は、第6章第7節へ移動 </p>

改定後	改定前	備考																																																																												
<p>3 施策の目的</p> <p>国際化時代、交流時代に対応した人材や地域づくりに向け、地域間交流、国際交流等さまざまな活動を推進し、交流人口を増加させることにより、町の情報発信や地域の活性化につなげます。</p> <p>4 主要施策</p> <table border="1" data-bbox="142 478 1341 695"> <tr> <td>①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進</td> <td>各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。</td> </tr> <tr> <td>②多様な交流・連携の展開</td> <td>スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。</td> </tr> </table> <p>5 重要業績評価指標（KPI）</p> <table border="1" data-bbox="142 1010 1341 1278"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標（KPI）</th> <th>単位</th> <th>2017年度 (平成29年度) (実績)</th> <th>2023年度 (令和5年度) (中間実績)</th> <th>2028年度 (令和10年度) (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>友好都市への訪問人数 <u>(期間累計)</u></td> <td>人</td> <td>248</td> <td>101</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>友好都市からの訪問人数 <u>(期間累計)</u></td> <td>人</td> <td>313</td> <td>75</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>友好都市間の連携事業数</td> <td>事業</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>スポーツ合宿受入チーム数</td> <td>団体</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 主要な事業</p> <table border="1" data-bbox="142 1507 1341 1577"> <tr> <td>友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進</td> <td>各都市との積極的な交流を推進します。</td> </tr> </table>	①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。	②多様な交流・連携の展開	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。	重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)	友好都市への訪問人数 <u>(期間累計)</u>	人	248	101	200	友好都市からの訪問人数 <u>(期間累計)</u>	人	313	75	200	友好都市間の連携事業数	事業	10	8	12	スポーツ合宿受入チーム数	団体	16	5	10	友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市との積極的な交流を推進します。	<p>3 施策の目的</p> <p>国際化時代、交流時代に対応した人材や地域づくりに向け、地域間交流、国際交流等さまざまな活動を推進し、交流人口を増加させることにより、町の情報発信や地域の活性化につなげます。</p> <p>4 主要施策</p> <table border="1" data-bbox="1427 478 2626 873"> <tr> <td>①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進</td> <td>各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。</td> </tr> <tr> <td>②多様な交流・連携の展開</td> <td><u>大学ゼミ合宿の誘致活動を継続的に行い、地域資源を生かした交流・連携を行います。</u>スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。 <u>また、「別海町ふるさと応援制度」を推進することで、ふるさと納税を契機とした交流人口の増加を図るとともに、移住促進を図るため、移住体験施設の整備等を推進します。</u></td> </tr> </table> <p>5 重要業績評価指標（KPI）</p> <table border="1" data-bbox="1427 1010 2626 1381"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標（KPI）</th> <th>単位</th> <th>2017年度 (実績)</th> <th>2023年度 (中間目標)</th> <th>2028年度 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>友好都市への訪問人数</td> <td>人</td> <td>63</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>友好都市からの訪問人数</td> <td>人</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>友好都市間の連携事業数</td> <td>事業</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>スポーツ合宿受入チーム数</td> <td>団体</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td><u>ふるさと納税寄附件数</u></td> <td><u>件</u></td> <td><u>1,281</u></td> <td><u>4,000</u></td> <td><u>6,000</u></td> </tr> <tr> <td><u>移住体験施設利用者数</u></td> <td><u>人</u></td> <td><u>10</u></td> <td><u>15</u></td> <td><u>20</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 主要な事業</p> <table border="1" data-bbox="1427 1518 2626 1734"> <tr> <td>友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進</td> <td>各都市との積極的な交流を推進します。</td> </tr> <tr> <td><u>別海町ふるさと応援制度の推進</u></td> <td><u>本制度を活用し、本町の魅力や地元特産品を全国にPRすることで、交流人口の増加に取り組みます。</u></td> </tr> <tr> <td><u>移住・定住の促進</u></td> <td><u>関係団体と連携し、都市部等への移住プロモーション活動を展開するとともに、移住体験施設を整備します。</u></td> </tr> </table>	①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。	②多様な交流・連携の展開	<u>大学ゼミ合宿の誘致活動を継続的に行い、地域資源を生かした交流・連携を行います。</u> スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。 <u>また、「別海町ふるさと応援制度」を推進することで、ふるさと納税を契機とした交流人口の増加を図るとともに、移住促進を図るため、移住体験施設の整備等を推進します。</u>	重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)	友好都市への訪問人数	人	63	70	80	友好都市からの訪問人数	人	11	20	30	友好都市間の連携事業数	事業	10	11	12	スポーツ合宿受入チーム数	団体	16	18	20	<u>ふるさと納税寄附件数</u>	<u>件</u>	<u>1,281</u>	<u>4,000</u>	<u>6,000</u>	<u>移住体験施設利用者数</u>	<u>人</u>	<u>10</u>	<u>15</u>	<u>20</u>	友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市との積極的な交流を推進します。	<u>別海町ふるさと応援制度の推進</u>	<u>本制度を活用し、本町の魅力や地元特産品を全国にPRすることで、交流人口の増加に取り組みます。</u>	<u>移住・定住の促進</u>	<u>関係団体と連携し、都市部等への移住プロモーション活動を展開するとともに、移住体験施設を整備します。</u>	
①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。																																																																													
②多様な交流・連携の展開	スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。																																																																													
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (平成29年度) (実績)	2023年度 (令和5年度) (中間実績)	2028年度 (令和10年度) (目標)																																																																										
友好都市への訪問人数 <u>(期間累計)</u>	人	248	101	200																																																																										
友好都市からの訪問人数 <u>(期間累計)</u>	人	313	75	200																																																																										
友好都市間の連携事業数	事業	10	8	12																																																																										
スポーツ合宿受入チーム数	団体	16	5	10																																																																										
友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市との積極的な交流を推進します。																																																																													
①友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市（枚方市、四万十市、名護市、別海町）で開催する友好都市サミットを生かし、施策等の情報交換を行い、本町の行政運営に活用するほか、住民間での交流や連携を深めていきます。																																																																													
②多様な交流・連携の展開	<u>大学ゼミ合宿の誘致活動を継続的に行い、地域資源を生かした交流・連携を行います。</u> スポーツ合宿受入協議会への支援や、施設整備等による機能の向上を図り、誘致活動を積極的に推進します。 <u>また、「別海町ふるさと応援制度」を推進することで、ふるさと納税を契機とした交流人口の増加を図るとともに、移住促進を図るため、移住体験施設の整備等を推進します。</u>																																																																													
重要業績評価指標（KPI）	単位	2017年度 (実績)	2023年度 (中間目標)	2028年度 (目標)																																																																										
友好都市への訪問人数	人	63	70	80																																																																										
友好都市からの訪問人数	人	11	20	30																																																																										
友好都市間の連携事業数	事業	10	11	12																																																																										
スポーツ合宿受入チーム数	団体	16	18	20																																																																										
<u>ふるさと納税寄附件数</u>	<u>件</u>	<u>1,281</u>	<u>4,000</u>	<u>6,000</u>																																																																										
<u>移住体験施設利用者数</u>	<u>人</u>	<u>10</u>	<u>15</u>	<u>20</u>																																																																										
友好都市提携等を結ぶ各都市との交流の推進	各都市との積極的な交流を推進します。																																																																													
<u>別海町ふるさと応援制度の推進</u>	<u>本制度を活用し、本町の魅力や地元特産品を全国にPRすることで、交流人口の増加に取り組みます。</u>																																																																													
<u>移住・定住の促進</u>	<u>関係団体と連携し、都市部等への移住プロモーション活動を展開するとともに、移住体験施設を整備します。</u>																																																																													